

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科

教科：国語 科目：現代の国語 単位数：2
対象学年組：第1学年 A組
教科担当者：（A組：井上康佑
使用教科書：（第一学習社「新編 現代の国語」）
教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】国語で表現された内容や事柄を的確に理解する資質・能力を育成する。
- 【思考力、判断力、表現力等】国語で表現された様々な事物・経験・思い・考えなどを理解し、自らの考えなどを形成し、表現する力を育成する。
- 【学びに向かう力、人間性等】言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に思考する力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を育成する。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する。	目的や場に応じて、伝え合う内容を検討するとともに、場に応じた表現が選択できるようにする。 相手の意見を傾聴する態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「オリエンテーション」 ・今後の学習について理解する。 「新しい出会い」 ・平易な評論を読み、論理的な文章の基礎を身につける。	『新しい出会い』 『「未知」はいくらでもある』 教材プリント 『ナマケモノになる』 教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	20
	「言葉が開く世界」 ・評論文における段落どうしの関係性や、段落が本文全体の中で果たす役割を理解する。 「人間の風景」 ・他者との関わりを通して、自分自身を見つめ直す。 「話して伝える」 相手や目的、場面にに応じて工夫して話す。 読み手にとって必要な情報を捉え、的確に伝える。	「言葉が開く世界」 『言葉の海のオノマトベ』 教材プリント 「人間の風景」 『臆病な詩人、街へ出る』 教材プリント 「話して伝える」 『話し方の工夫』 教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	
2 学 期	「話して伝える」 ・互いに伝え合う力、聞き合う力を高める。 「社会と人間」 ・筆者の主張を的確に捉えることができる。 ・文章に含まれている情報を相互に関連付けながら、内容を解釈する。	「話して伝える」 『スピーチで自分を伝える』 教材プリント 「社会と人間」 『人はなぜ仕事をするのか』 教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	30
	「書いて伝える」 ・表記、表現の基本ルールを理解し、文章を書く。 「論理分析」 ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 「生活の中の表現」 ・与えられた資料と会話文を関連付けながら、課題に即して必要な情報を読み取り、活用する。	「書いて伝える」 『書き方の基礎レッスン』 教材プリント 「論理分析」 『「間」の感覚』 教材プリント 「生活の中の表現」 「図書委員会のポスターの掲示内容を検討する」 教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	
3 学 期	「論理分析」 ・具体と抽象を理解し、文章の構成や論理の展開を的確に捉える。	「論理分析」 『日本語は世界をこのように捉える』 教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	20
	「書いて伝える」 ・論理展開や文章の構造、表現に留意しながら、自分の意見を的確に伝える。	「書いて伝える」 『社会に対する意見文を書く』 教材プリント					合計 70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教 科：国語 科 目：言語文化 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A組～

教科担当者：（ A組：井上 康佑

使用教科書：（ 高等学校 新編 言語文化 （第一学習社）

教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】国語で表現された内容や事柄を的確に理解する資質・能力を育成する。
- 【思考力、判断力、表現力等】国語で表現された様々な事物・経験・思い・考えなどを理解し、自らの考えなどを形成し、表現する力を育成する。
- 【学びに向かう力、人間性等】言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に思考する力や深く共感したり豊かに想像したりする力を育成する。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身につけるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにし、それを表現する力をつける。	言語がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に係わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「オリエンテーション」 ・1年間の学習の進め方について理解する。	「オリエンテーション」 「アマガエル」（太田光） 「古文入門」 ・「古文の学習」 ・「平仮名の誕生」 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		
	「古文入門」 ・古典の世界に親しむ意義を知り、古文の仮名遣いと言葉に慣れる。	「古文入門」 ・「児のそら寝」 ・「枕草子」 「言語活動」 ・「枕草子」の文体をまねて、随筆を書く 「伝統と文化」 ・「人形浄瑠璃文楽一三業一体の技」 ・「日本の伝統芸能」 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
2 学 期	「漢文入門」 ・漢文を読むことの意義を知り、基本的な訓読の仕方を知得する。	「漢文入門」 ・「漢文の学習」 ・「訓読に親しむ」 「故事成語」 ・漢文の訓読になれるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来する事を知る。	授業への取り組み方を基に、学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	30
	定期考査			○	○		
	「短歌」 ・短歌の鑑賞の仕方を学び近現代を代表する歌人の作品を味わう。	「短歌」 ・「大切の言葉」 「物語を楽しむ」 ・「伊勢物語」 「言語活動」 ・「古典の和歌を現代の言葉で置き換える」（俵万智） 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	
	定期考査			○	○		
3 学 期	「小説を読む」 ・小説に描かれた話の展開、登場人物の心情を正確にとらえる。	「小説を読む」 ・「羅生門」（芥川龍之介） 「随筆を楽しむ」 ・「徒然草」 仁和寺にある法師（兼好法師） 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	20
	定期考査			○	○		70

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教

教 科： 国語 科 目： 国語文化 単位数： 2
対象学年組： 第 2 学年 A 組
教科担当者： (A組：井上康佑
使用教科書： 自主教材)
教科 国語 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】国語で表現された内容や事柄を的確に理解する資質・能力を育成する。
- 【思考力、判断力、表現力等】国語で表現された様々な事物・経験・思い・考えなどを理解し、自らの考えなどを形成し、表現する力を育成する。
- 【学びに向かう力、人間性等】言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に思考する力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を育成する。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
国語で表現された内容を的確に理解する資質・能力を養うとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	国語で表現された内容を的確に理解し、共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、自らの思いや考えを形成し、表現する力を育む。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、読書の意義を認識し、生涯にわたって読書に親しむ態度を養う。また我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を育成する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	「詩の楽しみ」 ・現代詩と文語詩の鑑賞のしかたを理解し作品にこめられた世界への思いを読み取る。 「和歌」 ・和歌を通して言語文化に親しみを 持つ。 教材プリント	「詩の楽しみ」 ・『道程』 ・『六月』 「和歌」 ・『万葉集』 ・『古今和歌集』 ・『新古今和歌集』 教材プリント	授業への取り組み方を基に、学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	20
	「古典文学史」 ・古典作品の文学史をたどり、歴史的・文化的背景を理解する。 「書いて伝える」 ・情報を適切に収集し、整理する。文章の構成に留意し、意見文を書く。 教材プリント	「古典文学史」 ・「書いて伝える」 ・「小論文を書く」 教材プリント	授業への取り組み方を基に、学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	
2 学 期	「話して伝える」 ・プレゼンテーションを通して言葉で表現する力を身につける。 「様々なジャンルの作品を読む」 ・平易な古典作品を読み、歴史的・文化的背景を理解する。	「話して伝える」 ・「理想の修学旅行をプレゼンする」 「様々なジャンルの作品を読む」 ・「物語文学」 ・「随筆」 ・「日記文学」	授業への取り組み方を基に、学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	30
	「故事成語」 ・漢文で書かれた作品に親しむとともに、日本語とのかかわりを理解する。 「漢詩の鑑賞」 ・漢詩の鑑賞のしかたを理解し作品にこめられた世界への思いを読み取る。 教材プリント	「故事成語」 ・『五十歩百歩』 「漢詩の鑑賞」 ・『春曉』 教材プリント	授業への取り組み方を基に、学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	
3 学 期	「作品を比べて読む」 ・小説を読み、登場人物の心情を読み取る方法を学ぶとともに、読書に親しむ姿勢を育む。 ・二つの作品を比較し、作品同士の関係性を読み取る。	「作品を比べて読む」 ・『山月記』 ・『今昔物語集』 教材プリント	授業への取り組み方を基に、学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	20
							合計 70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科

教科： 国語 科目： 論理国語 単位数： 2
対象学年組：第 3 学年 A 組
教科担当者：（A組：井上康佑
使用教科書：（ 大修館書店「新編 論理国語」 ）

教科 国語 の目標：
【知識及び技能】国語で表現された内容や事柄を的確に理解する資質・能力を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】国語で表現された様々な事物・経験・思い・考えなどを理解し、自らの考えなどを形成し、表現する力を育成する。

【学びに向かう力、人間性等】言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に思考する力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を育成する。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する。	目的や場に応じて、伝え合う内容を検討するとともに、場に応じた表現が選択できるようにする。 相手の意見を傾聴する態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	「オリエンテーション」 ・今後の学習について理解する。 1、論理と出会う ・平易な評論を読み、論理的な文章の基礎を身に着ける。	1、論理と出会う ・「知の登山、知の水路」 （汐見稔幸） ・「『論理的な人』とはどういう人か」（野矢茂樹） 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	20
	2、具体と抽象 ・評論文における段落どうしの関係性や、段落が本文全体の中で果たす役割を理解する。 ・具体と抽象を理解し、文章の構成や論理の展開を的確に捉える。 3、対比をとらえる ・評論文における段落どうしの関係性や、段落が本文全体の中で果たす役割を理解する。	2、具体と抽象 ・「ウサギの耳はなぜ長い？」 （上田恵介） ・「記号のメディアと物理的メディア」（伊藤亜紗） 3、対比をとらえる ・「対話の精神」（平田オリザ） 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	
2 学期	4、主張をつかむ ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 ・論理の展開を踏まえて、筆者の主張を的確に捉える。 5、論理的に書く ・論理構造に留意して、小論文を書く。	4、主張をつかむ ・「「考える葦」であり続ける」（小川和也） 5、論理的に書く ・「小論文」 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	30
	6、統計資料を活用する ・内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 7、比べて読む ・文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、文章の構成や論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。	6、統計資料を活用する ・「量の時代から質の時代へ」（甲斐かおり） 7、比べて読む ・「紙の本はなくなる」（内田樹） ・「情報化と紙の本のゆくえ」（宇野常寛） 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	
3 学期	8、レポートを書く ・テーマを決めて、問いを立てる。 ・様々な手段で情報を収集し、集まった情報を整理する。 ・整理した情報を基にレポートにまとめる。	8、レポートを書く ・「レポート作成に向けた情報収集」 ・「テーマを決めてレポートを書く」 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	20
							合計 70

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科書

教科：国語 科目：論理国語 単位数：2
対象学年組：第4学年 A組
教科担当者：（A組：井上康佑）
使用教科書：（大修館書店「新編 論理国語」）
教科 国語 の目標：

- 【知識及び技能】国語で表現された内容や事柄を的確に理解する資質・能力を育成する。
- 【思考力、判断力、表現力等】国語で表現された様々な事物・経験・思い・考えなどを理解し、自らの考えなどを形成し、表現する力を育成する。
- 【学びに向かう力、人間性等】言語を手掛かりとしながら創造的・論理的に思考する力や深く共感したり、豊かに想像したりする力を育成する。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
主張と論拠、個別と一般化など、情報と情報との関係を理解する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。	内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 事柄が的確に伝わるように、表現のしかたを工夫する。	目的や場に応じて、伝え合う内容を検討するとともに、場に応じた表現が選択できるようにする。 相手の意見を傾聴する態度を育てる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	「オリエンテーション」 ・今後の学習について理解する。 1、自己を見つめて ・筆者の問題意識を捉えて、主張を読み取る。 ・読み取ったことをふまえて、自分の将来について考えを深める。	1、自己を見つめて ・「探究する力」（竹内薫） ・「補助線を引きながら考える」（鷲田清一） 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	20
	2、思考を深める ・筆者の主張と、それを支える根拠の関係を批判的に検討する。 ・根拠の妥当性を吟味すること で、より深く物事を考える。 3、社会に向かって ・進路活動に必要とされる書類を知り、それぞれの書類に応じた書き方の基本を身につける。	2、思考を深める ・「ミロのヴィーナス」（清岡卓行） 3、社会に向かって ・「志望先への提出書類」 ・「志望理由書を書こう」 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	
2 学期	4、視点を変えて ・複数の文章を比較・分析しながら読むことで、あるテーマについての考えを深める。 ・一つのテーマについて、複数の視点に立って考察する姿勢を養う。 5、問いを深めて書く一小論文② ・特定の抽象的なテーマから自ら問いを立てて、小論文を書く力を身につける。	4、視点を変えて ・「人類の進化から考える「心」の誕生」（長谷川眞理子） ・「ロボットに心はあるか」（石黒浩） 5、問いを深めて書く一小論文② ・「テーマ型小論文」 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	30
	6、現代を考える ・現代社会の諸問題に関心を持ち、そこから自分なりの問いを立てる。 ・興味を持ったテーマについて探究し、問いを深める。 7、未来に目を向けて ・日本や世界が抱える課題に関する文章を読み、社会への関心を高める。	6、現代を考える ・「政治の本質」（橋爪大三郎） ・「「である」ことと「すること」（丸山眞男） ・「話し合って考えを深めよう」 7、未来に目を向けて ・「人口減少社会の到来」（広井良典） 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	
3 学期	7、未来に目を向けて ・日本や世界が抱える課題に関する文章を読み、社会への関心を高める。 ・筆者の主張をもとに自らの考えを深め、探究的な学習活動に取り組む。	7、未来に目を向けて ・「未来の地図帳」（河合雅司） ・「豊かさとながり」（阿部健一） 教科書、教材プリント	授業への取り組み方を基に、 学びに向かう力を評価する。 学習プリントの取り組みを評価する。	○	○	○	20
							合計 70

高等学校 令和6年度（1 学年用） 教科 地理歴史 科目 地理総合

教 科： 地理歴史 科 目： 地理総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組～ 組

教科担当者：（ 組：鴨下 ）（ 組： ）

使用教科書：（ 帝国書院『高等学校 新地理総合』 ）

教科 地理歴史 の目標：

【知 識 及 び 技 能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとするすることの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	第1章 地図と地理情報システム	1節 地球上の位置と時差 2節 地図の役割と種類	①日常生活の中でみられるさまざまな地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性などについて理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 ②地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	第2章 結び付きを深める現代世界	1節 現代世界の国家と領域 2節 グローバル化する世界	①現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置と領域、国内や国家間の結び付きについて理解している。 ②現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	4
	中間考査			○	○		
	第1章 生活文化の多様性と国際理解	序説 生活文化の多様性 1節 世界の地形と人々の生活 2節 世界の気候と人々の生活 3節 世界の言語・宗教と人々の生活	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ②世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	16
	期末考査			○			

2 学期	第1章 生活文化の多様性と国際理解	4節 歴史的背景と人々の生活 5節 世界の産業と人々の生活	①世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 ②世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	11
	中間考査						
	第2章 地球的課題と国際協力	1節 複雑に絡み合う地球的課題 2節 地球環境問題 3節 資源・エネルギー問題 4節 人口問題 5節 食料問題 6節 都市・居住問題	①世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 ②世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	○	○	○	19
	期末考査						
3 学期	第1章 自然環境と防災	1節 日本の自然環境 2節 地震・津波と防災 3節 火山災害と防災 4節 気象災害と防災 5節 自然災害への備え	①我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関わりとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 ②地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 ③自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。				12
	第2章 生活圏の調査と地域の展望	1節 生活圏の調査と地域の展望	①生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 ②生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活圏外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。				4
学年末考査							合計

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：3 単位

対象学年組：第2学年 A組～組

教科担当者：（A組：鴨下祐暉（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）（組：）

使用教科書：（公共704 実教出版）

教科 公民 の目標：
【知識及び技能】諸資料から、様々な情報を適切かつ、効果的に調べる技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら議論する力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。

科目 公共 の目標：

1学期	2学期	3学期
学習活動するために必要となる力を養う。	公正に判断する力や社会参加意識を養う。	主体的に解決しようとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 【公共の扉】 (1) 公共の空間を作る私たち (2) 公共的な空間における人間としての在り方生き方	・人間としての在り方について関心を高め、課題を意欲的に追究する態度を養う。 ・時事問題 ・ワークシート ・ICT活用 ・確認テスト	□自らを成長させる人間としての在り方生き方について理解している。 ・ワークシート ・確認テスト ・時事問題	○	○	○	13
	B 単元 【自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	□主として法に関わる事項 ①法や規範の意義及び役割 ②契約及び消費者の権利と責任 ③司法参加の意義 □主として政治にかかわる事項 ①地方自治 地方公共団体 □主として経済に関わる事項	□自立した主体として解決が求められている具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら学習活動に参加する。 ・ワークシート ・確認テスト ・時事問題	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	C 単元 【持続可能な社会づくりの主体となる私たち】	□課題探求学習 ・時事問題 ・ワークシート ・ICT活用 ・確認テスト	□持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・ワークシート ・確認テスト ・時事問題	○	○	○	10
		・人間としての在り方について関心を高め、課題を意欲的に追究する態度を養う。 ・時事問題 ・ワークシート ・ICT活用 ・確認テスト	・プレゼンテーション	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	B 単元 【自立した主体としてよりよい社会の形成に参画する私たち	□主として法に関わる事項 ①法や規範の意義及び役割 ②契約及び消費者の権利と責任 ③司法参加の意義 ④主権者教育	□自立した主体として解決が求められている具体的な主題を設定し、合意形成や社会参画を視野に入れながら学習活動に参加する。 ・ワークシート ・確認テスト ・時事問題	○	○	○	18
		□主として政治にかかわる事項 ①地方自治 ②地方公共団体 □主として経済に関わる事項 ①金融機関 ②銀行取引 ③金融経済教育	・出前授業 金融経済教育 I	○	○	○	16
3 学 期	C 単元 【持続可能な社会づくりの主体となる私たち】	□課題探求学習 ・時事問題 ・ワークシート ・ICT活用 ・確認テスト	□持続可能な社会づくりについて、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 ・ワークシート ・確認テスト ・時事問題	○	○	○	16
				○	○	○	5
							合計 105

年間授業計画 様式例

高等学校 令和5年度

地理歴史

科目 歴史総合

教科： 地理歴史 科目： 歴史総合

単位数： 3 単位

対象学年組： 第 3 学年 A 組

教科担当者： (A組：鴨下

使用教科書： (私たちの歴史総合 資料から読み解く近現代日本と世界 (清水書院))

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵蓋される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 歴史総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相対的な視野から捉え、現代の諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べとめている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推察と比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・諸資料を活用して、私たちが日常的に見たり行ったりしているスポーツと近代化、大衆化、グローバル化などの歴史との関連を考察して表現し、日本と世界の歴史がつながっていることを理解する。	第1編 第1章 歴史と私たち 日本とスポーツの歴史 第2章 歴史的特質と資料 8月15日とそれぞれの「終戦」 第2編 第1章 生活や社会の変化を読み取ってみよう	知識・技能 日本とスポーツの歴史を基に、日本と世界の歴史がつながっていることを理解するとともに、諸資料を活用している 思考・判断・表現 スポーツと近代化、大衆化、グローバル化などの歴史との関連を考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度 日本とスポーツの歴史について、追究しようとしている。	○	○	○	10
	18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、18世紀のアジアの経済と社会を理解する。 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、アジア諸国と欧米諸国との関係の定容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、工業化と世界市場の形成を理解する。	第2章 結びつく世界と日本 (1) 18世紀までの世界 ①近代の日本と世界 ②18世紀の中国とアジア貿易 ③18世紀のイギリスとアジア アフリカ (2) 工業化と世界市場の形成 ④産業革命による経済発展と社会の変化 ⑤世界市場の形成とイギリスによるアジア進出 ⑥日本の開国とその影響	知識・技能 18世紀のアジアや日本における生産と流通、アジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易などを基に、18世紀のアジアの経済と社会を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 産業革命と交通・通信手段の革新、中国の開港と日本の開国などを基に、工業化と世界市場の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 思考・判断・表現 18世紀のアジア諸国の経済が欧米諸国に与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、18世紀のアジア諸国における経済活動の特徴、アジア各地域間の関係、アジア諸国と欧米諸国との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 産業革命の影響、中国の開港と日本の開国の背景とその影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、アジア諸国と欧米諸国との関係の定容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度 18世紀のアジアの経済・社会に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。 工業化と世界市場の形成に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査						1
2 学 期	18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、立憲体制と国民国家の形成を理解する。 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解する。	第3章 国民国家と明治維新 (1) 国民国家と立憲体制 (2) 二つの市民革命と近代民主主義社会の成立 ⑧国民統合とナショナリズム ⑨明治維新期の日本と世界 ⑩近代国家への移行と憲法の制定 (2) 帝国主義とアジア、アフリカの変容 ⑪列強による帝国主義 ⑫帝国主義がアジア、アフリカにもたらしたものの ⑬日清戦争とその影響 ⑭日露戦争	知識・技能 18世紀後半以降の欧米の市民革命や国民統合の動向、日本の明治維新や大日本帝国憲法の制定などを基に、立憲体制と国民国家の形成を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 列強の進出と植民地の形成、日清・日露戦争などを基に、列強の帝国主義政策とアジア諸国の変容を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 思考・判断・表現 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、政治変革の特徴、国民国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 帝国主義政策の背景、帝国主義政策がアジア・アフリカに与えた影響などに着目して、主題を設定し、アジア諸国とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、帝国主義政策の特徴、列強間の関係の定容などを多面的・多角的に考察し、表現している。 国民国家と立憲体制に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。 列強の帝国主義政策とアジア・アフリカの変容に関して、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。	○	○	○	14
	世界一の商店街誕生、国際関係の緊密化と米の台頭、大衆の政治的・経済的・社会的地位の変化、植民地の独立などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、国際秩序の変化や大衆化に関する問いを表現する。 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴィエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの動向と国際連盟の成立などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、第一次世界大戦の性格と惨禍、社会主義革命の意味や影響、第一次世界大戦後の国際関係の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動向の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動向や第二次世界大戦の勃発の背景に関する事柄を理解する。	第3編 第1章 生活や社会の変化を読み取ってみよう 第2章 (1) 第一次世界大戦と国際社会 (2) 第一次世界大戦 (3) 社会主義革命 (4) 国際協調体制 (5) アジアの民族運動 (6) 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを考察し、表現している。 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動向の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度 議会議決に基づく政党内閣制や国家や社会の在り方を模索する多様な思想や運動とその主体の意義に関して、大衆消費生活を含む戦争の惨禍におけるマスメディアの重要性を認識し、民主主義社会・資本主義社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。 世界恐慌への日本を含めた各国の対応の意義やその限界に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる現代的な諸課題とのかかわりを主眼的に追究しようとしている。 また、情報の統制や世論の形成過程におけるマスメディアの影響の大きさを理解し、現代的な諸課題とのかかわりを追究しようとしている。	○	○	○	11	
	定期考査						1
2 学 期	大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、第一次世界大戦後の社会の変容と大衆社会の形成と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する。 世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動向の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際協調体制の動向や第二次世界大戦の勃発の背景に関する事柄を理解する。	(2) 1920年代の世界と大衆の時代の到来 ①大衆の政治参加 ②女性の社会参加 ③大衆社会の形成 第3章 経済危機と第二次世界大戦 (1) 国際協調の挫折と2度目の世界大戦 ①第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを考察し、表現している。 ②ファシズムの台頭 ③日本の大陸進出 ④第二次世界大戦	知識・技能 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達などを基に、大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大量消費社会と大衆文化、教育の普及とマスメディアの発達など大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 世界恐慌、ファシズムの伸長、日本の対外政策、第二次世界大戦の勃発などを基に、国際協調体制の動向と崩壊、国際秩序の変容に繋がった当時の政治制度の特性や国際情勢、第二次世界大戦の展開を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 思考・判断・表現 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを考察し、表現している。 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動向の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度 議会議決に基づく政党内閣制や国家や社会の在り方を模索する多様な思想や運動とその主体の意義に関して、大衆消費生活を含む戦争の惨禍におけるマスメディアの重要性を認識し、民主主義社会・資本主義社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。 世界恐慌への日本を含めた各国の対応の意義やその限界に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる現代的な諸課題とのかかわりを主眼的に追究しようとしている。 また、情報の統制や世論の形成過程におけるマスメディアの影響の大きさを理解し、現代的な諸課題とのかかわりを追究しようとしている。	○	○	○	14
	アジア太平洋戦争の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦後の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、第二次世界大戦後の国際秩序と日本の国際社会への復帰を理解する。 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、国際政治の変容を理解する。	(2) 世界大戦がもたらしたものの ②アジア太平洋戦争 ③戦争が変えた人々のくらし ④戦後世界の新なる枠組み ⑤敗戦後の日本とアジア ⑥冷戦の東アジア 第4編 第1章 生活や社会の変化を読み取ってみよう 第2章 冷戦と国際政治 (1) 冷戦と国際政治 ①脱植民地化とアジア、アフリカ諸国 (2) 冷戦下の地域紛争 ③先進国の政治と社会運動 ④核兵器の脅威と核軍縮	知識・技能 アジア太平洋戦争の展開、国際連合と国際経済体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和条約と日本の独立の回復などを基に、それらに関する諸資料を活用している。 脱植民地化とアジア・アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治の動向、軍備拡張や核兵器の管理などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦後の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 地域紛争の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の関係、第三世界の国々の経済政策の特徴、欧米やソヴィエト連邦の政策転換の要因などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、第二次世界大戦の性格と惨禍、第二次世界大戦後の社会状況や人々の生活、日本に対する占領政策と国際情勢との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度 核兵器使用を含む戦争の惨禍がもたらした影響や平和で民主的な国際社会の実現に努める意義に関して、国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。 また国民生活に対する国家の関わりについて追究しようとしている。 地域紛争や冷戦の影響、国際政治の動向などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。	○	○	○	14
	定期考査						1

3 学 期	西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する。	(2) 世界経済の拡大と日本 ⑧西ヨーロッパ、東南アジアの地域連携 ⑨戦後の日本とアジア諸国との関係 ⑩高度経済成長	知識・技能 西ヨーロッパや東南アジアの地域連携、計画経済とその波及、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 思考・判断・表現 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度 世界経済の動向や、地域連携、日本の高度経済成長の背景と影響などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。	○	○	○	13
	石油危機、アジアの諸地域の経済発展、冷戦の終結などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、市場経済の変容と課題を理解する。 民主化の進展、地域統合の拡大と変容、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、歴史的な見方・考え方を活用しながら、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する。	第3章 世界秩序の変容と日本 (1) 市場経済の変容と冷戦の終結 ⑧石油危機と価値観の転換 ⑨アジアの成長 ⑩冷戦の終結 (2) 冷戦終結後の世界 ⑪民主化の進展と冷戦終結後の日本 ⑫市場開放と経済の自由化 ⑬地域統合の進展と課題 ⑭情報通信技術の発達 ⑮冷戦終結後の紛争と平和への取り組み	知識・技能 石油危機、アジアの諸地域の経済発展、冷戦の終結などを基に、市場経済の変容と課題を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 民主化の進展、地域統合の拡大と変容、市場開放と経済の自由化、情報通信技術の発展、地域紛争の拡散とそれへの対応などを基に、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解するとともに、それらに関する諸資料を活用している。 思考・判断・表現 アジアの諸地域の経済発展の背景、資源・エネルギーと地球環境問題が世界経済に及ぼした影響、冷戦の変容と終結の背景などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、市場経済のグローバル化の特徴と日本の役割などを考察し、表現している。 民主化や地域統合の背景と影響、経済の自由化や技術革新の影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、主題を設定し、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを考察し、表現している。 主体的に学習に取り組む態度 アジアの諸地域の経済発展、資源・エネルギーと地球環境問題、冷戦の終結が世界経済に及ぼした影響などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。 民主化や地域統合の動き、経済の自由化や技術革新、地域紛争の拡散の背景や影響などに関して、グローバル化する国際社会の一員として、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を追究しようとしている。	○	○	○	12

定期考査

東京都立江戸川高等学校定時制

令和7年度 教科（公民）科目（政治経済）年間授業計画

教科：公民 科目：政治経済 単位数：2 単位

対象学年組：第 4 学年A 組

教科担当者：（ A 組：島袋 恒男 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 最新「政治経済」実教出版 ）

使用教材：（ なし ）

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・オリエンテーション ・現代国家と民主政治	・民主主義の成立過程に関して歴史的に理解する。 ・現代国家に民主主義がどのように活用されているか理解する。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	2
5月	・日本国憲法と基本原理 ・人権の拡大と公共の福祉	・日本国憲法の成立過程について具体的に理解する。 ・自由権がどのような人権かを判例から理解する。 ・社会権がどのような点で新しい人権と呼ばれるのか具体的に理解する。 ・人権と人権の衝突からどのような問題が生じるかを理解する。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	6
6月	・日本の政治制度と政治参加 ・公正な裁判 ・司法の民主的統制	・日本の統治機構に関して権力機構相互の抑制均衡の観点から理解する。戦後の復興期から現代までの経済の流れを把握する。 ・裁判所の役割に関して具体的に理解するとともに、近年の司法改革について知る。 ・現代社会の諸課題 司法の民主的統制のためにどのような制度があるかを理解する。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	5
7月	・広がる人権の考え方	・社会権など人権の広がりについて理解する	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	6
8月	・新しい人権	・プライバシー権、環境権、自己決定権など新しい人権について理解を深める。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	4
9月	・地方自治と住民福祉 ・政党政治	・地方政治が国政とどのような点で類似し、また、差異があるかを具体的に理解する。政党の役割について理解する。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	3
10月	選挙制度 ・現代経済のしくみ	・選挙制度に基本について理解する。 18歳の政治参加の影響について理解する。 ・市場の機能と経済主体の役割について理解する。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	7
11月	・現代経済のしくみ ・現代の日本経済と福祉の向上 現代の国際経済現代社会の諸課題	・国民所得概念について把握する。 ・金融の果たす役割について理解を深める。 ・日本の財政問題と今後の課題について理解する。 ・日本経済の変遷に関して理解する。 ・貿易と国際収支の基本に関して理解する。 ・国際経済の課題について基本的理解を深める。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	7
12月	2学期のまとめ	1学期に学習した内容を理解できているかどうかテストを実施し理解不十分部分についての補習を行い、内容を理解する。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	2
1月	・現代社会の諸課題	・現代社会にどのような課題があるかについて理解を深める。 ・我が国における少子高齢化対策について理解を深める。	・身近な話題・最近のニュース・基本的事項から、経済や政治などに興味・関心を持ってもらえるような題材を選ぶ。 ・視覚的教材を活用するようにする。 ・評価については、定期考査の素点を主要な材料としながら、授業中の態度、出席率などを見ながら判断する。	4
2月				
3月				

科目 数学 I

單位數： 2 單位

の目標：

【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	基本的な四則演算ができる。	中学校で学習した四則演算の復習。プリントを使用する。	基本的な四則演算ができる。 分数の加法・減法について理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	6
	整式の加法・減法ができる。	多項式の加法・減法ができる。プリントを使用する。	整式の加法減法ができる。 分数の加法・減法について理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	6
	中間考査			○	○		1
	式の展開ができる。	式の展開ができる。 プリントを使用する。	式の展開ができる。 乗法公式について理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	6
	式の因数分解ができる。	式の因数分解ができる。 プリントを使用する。	式の因数分解ができる。 因数分解の公式について理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	6
	期末考査			○	○		1
	2 学 期	√を含む式の計算ができる。	√を含む式の計算ができる。 プリントを使用する。	√を含む式の計算ができる。 分母の有理化について理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○
中間考査				○	○		1
実数について理解する。		分数と小数の計算ができる。 プリントを使用する。	循環小数について理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
期末考査				○	○		1
3 学 期	1次不等式を解くことができる。	1次不等式を解くことができる。 プリントを使用する。	1次不等式を解くことができる。 負の数をかけたときの大小関係を理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	7
	2次関数のグラフをかくことができる。	2次関数のグラフをかくことができる。 プリントを使用する。	2次関数のグラフをかくことができる。 平行移動について理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	10
	学年末考査			○	○		1 合計 70

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係について理解すること。また、二次不等式の解と二次関数のグラフとの関係について理解し、二次関数のグラフを用いて二次不等式の解を求めること。	二次方程式・二次不等式の解を求める。	二次方程式・二次不等式を解くことができる。 二次方程式の解と二次関数のグラフとの関係を理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	鋭角の三角比の意味と相互関係について理解する。図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象を数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりする。	直角三角形について、三角比を求める。	直角三角形について、三角比を求めることができる。 三角比の相互関係について理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1
2 学 期	三角比を鈍角まで拡張する意義を理解するとともに、正弦定理や余弦定理について理解し、それらを用いて三角形の辺の長さや角の大きさを求められるようにする。	鋭角の三角比を用いて、鈍角の三角比の値を求める。	鈍角の三角比を求めることができる。 正弦定理や余弦定理について理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	集合に関する基本的な概念を理解する。命題に関する基本的な概念を理解するとともに、基本的な命題の証明ができるようにする。	2つの集合の和集合・共通部分を求める。命題に関する基本的な概念を理解し、簡単な命題の真偽を調べる。	2つの集合の和集合・共通部分を求めることができる。 簡単な命題の真偽を調べることができる。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1
3 学 期	統計の基本的な考えを理解するとともに、データの散らばりを数値で表してデータの傾向を把握したり、散布図や相関係数を用いて2つのデータの相関を把握できるようにする。	与えられたデータを指定されたグラフで表す。代表値、四分位範囲、分散、標準偏差などの意味や使い方を理解しており、またそれらを適切に求める。	与えられたデータを、指定されたグラフで表すことができる。 代表値、四分位範囲、分散、標準偏差の意味を理解する。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	17
	学年末考査			○	○		1 合計 70

単元の具体的な指導目標		指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	3次の乗法公式および因数分解の公式についての理解を深める。また、パスカルの三角形などを用いた展開や、分数式の四則演算ができるようにする。	3次の乗法公式や因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解をする。	3次の乗法公式や因数分解の公式を理解し、それらを用いて式の展開や因数分解ができる。 3次の乗法公式や因数分解の公式について、すでに学習した2次式の場合と関連付けて多面的に考察できる。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	数を複素数までに拡張することの意義を理解し、複素数の四則演算ができるようにする。また、2次方程式の解について理解を深める。	数を複素数まで拡張する意義を理解し、複素数の四則演算をする。2次方程式の解の判別及び解と係数の関係について理解する。	複素数の四則演算ができる。 2次方程式の解の判別及び解と係数の関係について理解している。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1
2 学 期	整式の除法・剰余の定理、因数定理について理解し、それらを用いて高次方程式を解けるようにする。	整式の除法について理解し、計算をする。剰余の定理や因数定理を理解し、余りを求めたり、与えられた式が因数であるかを調べたりする。	整式の除法の計算ができる。 剰余の定理や因数定理を理解し、余りを求めたり、与えられた式が因数であるかを調べることができる。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	直線上の点や平面上の点について、その座標を理解し、内分点や外分点を考察する。	直線上の2点間の距離や、線分を内分する点・外分する点の座標を求める。	直線上の2点間の距離や、線分を内分する点の座標を求めることができる。 座標平面上の異なる2点から等しい距離にある点の座標を、2点間の距離を求めることを利用して考察できる。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1
3 学 期	直線の傾きに着目して、ある直線に平行な直線や垂直な直線の方程式を求める。円の方程式について理解し、円と直線の位置関係および共有点の個数について学ぶ。	座標平面上のいろいろな直線を方程式で表す。座標平面上の円を方程式で表す。	ある直線に平行な直線や垂直な直線の方程式を求めることができる。 円と直線の位置関係や共有点の個数について、2次方程式の判別式を用いて考察できる。 主体的に学習に取り組む。	○	○	○	17
	学年末考査			○	○		1 合計 76

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅱ

教 科： 数学 科 目： 数学Ⅱ 単位数： 2 単位
対象学年組：第 4 学年 A 組～ 組
教科担当者：（A組：戸代谷） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）
使用教科書：（ 高校数学Ⅱ 実教出版 ）
教科 数学 の目標：

- 【知 識 及 び 技 能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学Ⅱ	の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりしようとする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	円の方程式について理解し、円と直線の位置関係および共有点の個数について学ぶ。不等式を満たす点 (x, y) の集合を領域ということがわかり、いろいろな不等式が表す領域を図示することができるようにする。	座標平面上の円を方程式で表す。不等式が表す領域を図示する。	座標平面上の円を方程式で表すことができる。円の方程式から、中心の座標や半径を求めることができる。不等式の表す領域を求めることができる。連立不等式の表す領域が理解できる。主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	一般角について三角関数の値を考え、それらをもとに三角関数の相互関係や性質、グラフを学ぶ。	一般角について三角関数の値を求める。	一般角について三角関数の値を求めることができる。三角関数の性質を利用して、いろいろな三角関数の値を求めることができる。三角関数の値の変化やグラフの特徴について理解できる。主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1
2 学期	指数を0や負の整数、分数に拡張し、指数法則について考察する。指数関数のグラフについて学び、その性質を考察する。対数の意味を理解し、対数の性質を用いた基本的な計算の仕方を学ぶ。対数関数のグラフについて学び、その性質を考察する。	指数法則を用いて数や式の計算をする。対数の性質を利用して、対数の計算をする。	累乗根を含む式の計算について、指数法則を利用して考察できる。指数関数を利用して、指数にxを含む方程式を解くことができる。対数の意味とその基本的な性質を理解できる。対数の定義に基づいて、対数の値を求めることができる。主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	微分係数や導関数について理解し、関数の導関数を求めたり、曲線上の点における接線の方程式を求める方法を学ぶ。導関数を用いて、関数の値の変化を調べ、関数の増減や極大・極小を求めたり、3次関数のグラフをかく方法を学ぶ。	導関数を求める。3次関数のグラフを描く。	導関数の意味について理解し、導関数を求めることができる。導関数を用いて、関数の値の増減や極大・極小を調べることができる。主体的に学習に取り組む。	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1
3 学期	微分の逆演算として不定積分を考え、2次までの多項式関数の不定積分を求められるようにする。定積分について理解し、それをもとに直線や曲線で囲まれた図形の面積を求める方法を学ぶ。	不定積分を求める。定積分を求める。	・不定積分の意味について理解し、不定積分を求めることができる。 ・定積分の意味を理解し、定積分を求めることができる。 ・積分の考えを用いて、いろいろな図形の面積を求める方法について考察できる。	○	○	○	6
							合計
							58

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科 数学 科目 数学A

教科： 数学 科目： 数学A 単位数： 2 単位
対象学年組：第 4 学年 A 組～ 組
教科担当者：（A組：戸代谷） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ） （組： ）
使用教科書：（ 高校数学A 実教出版 ）
教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】
- 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】
- 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】
- 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学A	の目標：		
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】	
数学Aにおける基本的な概念や原理・法則を体系的に理解しているとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。	不確実な事象に着目し、確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、図形の構成要素間の関係などに着目し、図形の性質を見だし、論理的に考察する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、事象に数学の構造を見だし、数理的に考察する力を身につけることができる。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとしている。 また、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとしている。	

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	集合の要素に関する基本的な関係や和の法則・積の法則について理解するとともに、具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求められるようにする。	集合の補集合、共通部分、和集合について求める。 和の法則・積の法則を用いて場合の数を求める。	・集合の要素の個数について関係式を理解し、補集合の要素の個数や和集合の要素の個数を求めることができる。 ・和の法則・積の法則を理解し、それぞれの法則を用いて場合の数を求めることができる。 ・順列の考え方を理解し、それらの総数を計算することができる。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	集合の要素に関する基本的な関係や和の法則・積の法則について理解するとともに、具体的な事象の考察を通して順列及び組合せの意味について理解し、それらの総数を求められるようにする。	順列・組合せの考え方をを用いて場合の数を求める。	・順列と組合せの考え方を利用して、場合の数の求め方について考察できる。	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1
2 学期	確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いていろいろな事象の確率を求められるようにする。	組合せや排反事象・余事象を用いて確率を求める。	・確率の基本的な法則を理解できる。 ・組合せを利用して、確率を求めることができる。 ・排反事象や余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 ・独立な試行や反復試行の意味を理解し、確率を求めることができる。 ・条件つき確率の意味を理解し、確率を求めることができる。	○	○	○	12
	中間考査			○	○		1
	確率の意味やその基本的な法則についての理解を深め、それらを用いていろいろな事象の確率を求められるようにする。	反復試行の確率を求める。 条件つき確率を求める。	・確率の基本的な法則を理解できる。 ・組合せを利用して、確率を求めることができる。 ・排反事象や余事象の意味を理解し、確率を求めることができる。 ・独立な試行や反復試行の意味を理解し、確率を求めることができる。 ・条件つき確率の意味を理解し、確率を求めることができる。	○	○	○	12
	期末考査			○	○		1
3 学期	2進法の仕組みを理解し、基数変換ができるようにする。 ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、それを用いて最大公約数を求められるようにする。	2進法で表された数を10進法で表す。 10進法で表された数を2進法で表す。 ユークリッドの互除法を用いて最大公約数を求める。	・10進法と2進法の仕組みについて理解し、2進法で表された数を10進法で表したり、10進法で表された数を2進法で表すことができる。 ・約数や倍数、公約数について理解し、求めることができる。 ・ユークリッドの互除法の仕組みを理解し、互除法を用いて2つの整数の最大公約数を求めることができる。	○	○	○	6
							合計 58

高等学校 令和7年度（1学年用）

教科：理科

科目：科学と人間生活

教科 理科

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：（A組：高橋幸大）

使用教科書：（ 高等学校 科学と人間生活 第一学習社 ）

教科 理科 の目標：

【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能

【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを行い，科学的に探究する力

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象について主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術発展の人間生活への貢献や身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身に付け、人間生活のあり方について理解する。観察・実験の技能を習得するとともに探究方法を身に付ける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察・実験・調査を行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこからの自分の考えを的確に表現することを身に付ける。	身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	熱運動について知り、温度について説明ができるようになる。温度上昇について比熱から必要な熱量を求められる。	・温度と熱運動 ・セルシウス温度と絶対温度 ・熱平衡 ・比熱と熱量 ・熱の伝わり方	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	熱の発生方法についていくつか種類を挙げられる。また、熱がどのようにに日常や工業分野で利用されているか説明ができる。	・熱の発生方法と実践 ・熱の利用方法 ・エネルギー問題について	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		¥
2 学 期	電磁波とは何か説明することができる。光の性質について知り、その性質から生まれる現象をいくつかあげることが出来る。	・電磁波 ・可視光の性質 ・光の起こす現象	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	波の種類と特徴について知り、その合成ができる。音が生み出す現象について説明することができる。	・縦波と横波 ・合成波 ・音波 ・音が及ぼす現象	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	惑星・衛星などの天体について学び、地球から見た現象について説明できる。	・天体の種類と名称 ・月の動きと人間生活 ・宇宙の環境 ・星座	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	12
	1年間のまとめを行う。		・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	1
							合計 63

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科：理科 科目：化学基礎

教科：理科 科目：化学基礎 単位数： 3 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：（A組：高橋幸大）

使用教科書：（ 新編 化学基礎 数研出版 ）

教科 理科 の目標：

- 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能
- 【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを行い，科学的に探究する力
- 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象について主体的に関わり，科学的に探究しようとする態度

科目 化学基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生活の中にかくれている化学を見つけ、身近な事物・現象を通して物質の性質や化学変化についての知識を身に付ける。確認をしたり、持続可能な社会を目指すために、観察・実験の技能を習得するとともに探究方法を身に付ける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、実験・調査を行って得た結果について、化学的に思考し、判断する。そこからの自分の考えを的確に表現すること	身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、環境問題の解決や化学の発見に対する関心を高める態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
	物質が何かを知る。 基本的実験の器具の取り扱いを理解できる。	・物質が何かを考える。 ・共通点も見つける。 ・相違点に気づく。 ・分類について考え、自分の考えをまとめる。	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	物質の分離・精製を理解できる。 物質の分離方法や精製方法を実験を通して身に付けることができる。	・物質の分離方法を考える。 ・実験を行い確認する。 ・他の方法について考え、自分の考えをまとめる。	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
	元素について理解できる。 原子の構造や結合を理解できる。 実験を通して、結合を確認でき、他の物質の結合を予測できる。	・元素と原子の違いを明確にする。 ・同素体や炎色反応の実験により、成分元素を考える。 ・原子の構造から、電子のあり方やイオンへの移り方考える。	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	21
	物質の三態について理解でき、熱量の移動についても確認できる。	・物質の三態を日常の現象に照らし合わせ、考え、自分の考えをまとめる。 ・熱との関係も考える。	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	19
3 学 期	酸化還元について、理解できる。 イオンの存在と含まれる量や割合を理解できる。	・酸化や還元の現象を考える。 ・水素イオンや水酸化物イオンについて理解を深めるために、図解しながら考える。	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	13
	pHについて理解でき、中和反応について実験を行い、理解できる。	・pHとは何かを考える。 ・実験を行い、中和についても考える。	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	10
	合計						88

单位数： 3 单位

使用教科書：（ 高等学校 新 生物基礎 第一学習社

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを行い，科学的に探究する力

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度

の目標：

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	生物とは何か、生物の共通点から説明することができる。 生命活動に用いるエネルギーについて、代謝と関連付けて理解している。	- 生物の多様性と共通性 - 生物の共通性の由来 - 代謝とATP	- 授業を受ける態度。 - 出席する。 - プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 - 実験への意欲態度。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	遺伝情報を持つDNAについて塩基の相補性と関連付けて理解している。 遺伝情報の発現、塩基配列と合成物質について説明ができる。	- 遺伝情報とDNA - DNAの複製と分配	- 授業を受ける態度。 - 出席する。 - プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 - 実験への意欲態度。	○	○	○	11
	定期考査			○	○		1
2 学期	体内の情報伝達として神経が利用されていることを理解している。 体内環境の維持についてホルモンの働きから説明ができる。	- 恒常性と神経系 - ホルモン濃度と体内環境	- 授業を受ける態度。 - 出席する。 - プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 - 実験への意欲態度。	○	○	○	21
	定期考査			○	○		1
	免疫機能として異物を排除する防御機構について理解している。	- 生体防御 - 自然免疫 - 獲得免疫	- 授業を受ける態度。 - 出席する。 - プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 - 実験への意欲態度。	○	○	○	19
	定期考査			○	○		1
3 学期	植生の遷移をバイオームと関連付けて理解している。	- 植生と環境のかかわり - バイオーム - 陽樹と陰樹	- 授業を受ける態度。 - 出席する。 - プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 - 実験への意欲態度。	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	10
							合計 90

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科：理科 科目：総合理科

教 科：理科

科 目： 総合理科

单位数： 2 单位

対象学年組：第 4 学年 A 組

教科担当者：（A組選択者：高橋幸大）

使用教科書：（ 高等学校 科学と人間生活 第一学習社

教科 理科

の目標：

【知 識 及 び 技 能】自然の事物・現象についての理解，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能

【思考力、判断力、表現力等】観察・実験などを行い，科学的に探究する力

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象について主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度

科目 科学と人間生活

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
科学技術発展の人間生活への貢献や身近な事物・現象を通しての現代の人間生活と科学技術の関連性についての知識を身に付け、人間生活のあり方について理解する。観察・実験の技能を習得するとともに探究方法を身に付ける。	身近な事物・現象の中に問題を見出し、観察・実験・調査を行って得た結果について、科学的に思考し、判断する。そこからの自分の考えを的確に表現することを身に付ける。	身近な事物・現象に関心や探究心を持ち、科学的な視点・考察力を養うとともに、科学技術に対する関心を高める態度を身に付ける。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	熱運動について知り、温度について説明ができるようになる。温度上昇について比熱から必要な熱量を求められる。	・温度と熱運動 ・セルシウス温度と絶対温度 ・熱平衡 ・比熱と熱量 ・熱の伝わり方	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	熱の発生方法についていくつか種類を挙げられる。また、熱がどのようにに日常や工業分野で利用されているか説明ができる。	・熱の発生方法と実践 ・熱の利用方法 ・エネルギー問題について	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	10
	定期考査			○	○		¥
2 学期	電磁波とは何か説明することができる。光の性質について知り、その性質から生まれる現象をいくつかあげることができる。	・電磁波 ・可視光の性質 ・光の起こす現象	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	波の種類と特徴について知り、その合成ができる。音が生み出す現象について説明することができる。	・縦波と横波 ・合成波 ・音波 ・音が及ぼす現象	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学期	惑星・衛星などの天体について学び、地球から見た現象について説明できる。	・天体の種類と名称 ・月の動きと人間生活 ・宇宙の環境 ・星座	・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	12
	1年間のまとめを行う。		・授業を受ける態度。 ・出席する。 ・プリントを埋めて、まとめ、提出することができる。 ・実験への意欲態度。	○	○	○	1 合計 63

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組

教科担当者：（A組：榎本・福島）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館））

教科 保健体育 の目標：生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けようようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する。

【学びに向かう力、人間性等】運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する。

科目 体育 の目標：生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	E 球技 ネット型（バレーボール） ネット型（バドミントン） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようということ。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすること。	【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通して学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				26
2 学 期	E 球技 ネット型（卓球） ゴール型（バスケットボール） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 体育理論 【知識・技能】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する→文化資源としてスポーツを継承していくためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な『する、みる、支える、知る』などの関わりが求められること 【思考力・判断力・表現力】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える 【主体的に取り組む態度等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む	【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようということ。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすること。	【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通して学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				26

3 学 期	C 陸上競技（長距離） ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 E 球技（バドミントン） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識・技能】 ・その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができること。 ・自分で設定したベースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ること。 【思考力・判断力・表現力】 ・自己の動きを分析して良い点や修正点を指摘すること。 ・陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・持久走の学習に主体的に取り組もうとすること。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということ。 【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようということ。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうということ。	【知識・技能】 ・その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 ・自分で設定したベースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・自己の動きを分析して良い点や修正点を指摘している。 ・陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・持久走の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 - チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				18
							合計
							70

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：（A組：榎本・福島）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館））

教科 保健体育 の目標：生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けようようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する。

【学びに向かう力、人間性等】運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する。

科目 体育 の目標：生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	E 球技 ネット型（バレーボール） ネット型（バドミントン） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようということ。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすること。	【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通して学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				26
2 学 期	E 球技 ネット型（卓球） ゴール型（バスケットボール） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 体育理論 【知識・技能】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する→文化資源としてスポーツを継承していくためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な『する、みる、支える、知る』などの関わりが求められること 【思考力・判断力・表現力】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える 【主体的に取り組む態度等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む	【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようということ。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすること。	【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通して学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				26

3 学 期	C 陸上競技（長距離） ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 E 球技（バドミントン） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識・技能】 ・その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができること。 ・自分で設定したベースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることに。 【思考力・判断力・表現力】 ・自己の動きを分析して良い点や修正点を指摘すること。 ・陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・持久走の学習に主体的に取り組もうとすること。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということ。 【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようということ。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうということ。	【知識・技能】 ・その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 ・自分で設定したベースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・自己の動きを分析して良い点や修正点を指摘している。 ・陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・持久走の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 - チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				18
							合計
							70

高等学校 令和7年度（3学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 A組

教科担当者：（A組：榎本・福島）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館））

教科 保健体育 の目標：生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けようようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する。

【学びに向かう力、人間性等】運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する。

科目 体育 の目標：生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	E 球技 ネット型（バレーボール） ネット型（バドミントン） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようということ。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすること。	【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通して学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				26
2 学 期	E 球技 ネット型（卓球） ゴール型（バスケットボール） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。 体育理論 【知識・技能】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する→文化資源としてスポーツを継承していくためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な『する、みる、支える、知る』などの関わりが求められること 【思考力・判断力・表現力】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える 【主体的に取り組む態度等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む	【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようということ。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとすること。	【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通して学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				26

3 学 期	C 陸上競技（長距離） ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 E 球技（バドミントン） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識・技能】 ・その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができること。 ・自分で設定したベースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ること。 【思考力・判断力・表現力】 ・自己の動きを分析して良い点や修正点を指摘すること。 ・陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・持久走の学習に主体的に取り組もうとすること。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということ。 【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようということ。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうということ。	【知識・技能】 ・その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 ・自分で設定したベースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・自己の動きを分析して良い点や修正点を指摘している。 ・陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・持久走の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 - チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				18
							合計
							70

高等学校 令和7年度(4学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科: 保健体育 科目: 体育 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 4 学年 A 組

教科担当者: (A組: 榎本・福島)

使用教科書: (現代高等保健体育(大修館))

教科 保健体育 の目標: 生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知識及び技能】各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けようようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断する。

【学びに向かう力、人間性等】運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する。

科目 体育 の目標: 生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して運動に親しむ態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	E 球技 ネット型 (バレーボール) ネット型 (バドミントン) ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとすること。	【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通して学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				26
2 学 期	E 球技 ネット型 (卓球) ゴール型 (バスケットボール) ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとし、健康・安全を確保することができるようにする。 体育理論 【知識・技能】 豊かなスポーツライフの設計の仕方について理解する→文化資源としてスポーツを継承していくためには、スポーツの可能性と問題点を踏まえて適切な『する、みる、支える、知る』などの関わりが求められること 【思考力・判断力・表現力】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展について、課題を発見し、よりよい解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える 【主体的に取り組む態度等】 スポーツの文化的特性や現代のスポーツの発展についての学習に自主的に取り組む	【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い高め合おうとすること。	【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通して学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出したりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話し合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				26

3 学 期	C 陸上競技（長距離） ・生涯にわたって運動を豊かに継続するための自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えることができるようにする。 E 球技（バドミントン） ・勝敗を競ったりチームや自己の課題を解決したりするなどの多様な楽しさや喜びを味わい、技術などの名称や行い方、体力の高め方、課題解決の方法、競技会の仕方などを理解するとともに、作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができるようにする。 【知識・技能】 ・状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができるようにする。 【思考力・判断力・表現力等】 ・生涯にわたって運動を豊かに継続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができるようにする。 【主体的に取り組む態度等】 ・主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようということ、合意形成に貢献しようということ、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ、互いに助け合い高め合おうということなどや、健康・安全を確保することができるようにする。	【知識・技能】 ・その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができること。 ・自分で設定したベースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ること。 【思考力・判断力・表現力】 ・自己の動きを分析して良い点や修正点を指摘すること。 ・陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・持久走の学習に主体的に取り組もうとすること。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようということ。 【知識・技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすること。 【思考力・判断力・表現力等】 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見すること。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案すること。 ・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けること。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとすること。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようということ。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようということ。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうということ。	【知識・技能】 ・その運動種目の技能に関連させながら体力を高めることができることについて、言ったり書き出したりしている。 ・自分で設定したベースの変化や仲間のペースに応じて、ストライドやピッチを切り替えて走ることができる。 【思考力・判断力・表現力】 ・自己の動きを分析して良い点や修正点を指摘している。 ・陸上競技の学習成果を踏まえて、自己に適した生涯にわたって楽しむための関わり方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・持久走の学習に主体的に取り組もうとしている。 ・一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとしている。 【知識・技能】 ・課題解決の方法には、チームや自己に応じた目標の設定、目標を達成するための課題の設定、課題解決のための練習法などの選択と実践、ゲームなどを通した学習成果の確認、新たな目標の設定といった過程があることについて、言ったり書き出ししたりしている。 【思考力・判断力・表現力等】 - チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘している。 ・課題解決の過程を踏まえて、チームや自己の新たな課題を発見している。 ・チームでの学習で、状況に応じてチームや自己の役割を提案している。 ・チームでの話合いの場面で、合意を形成するための調整の仕方を見付けている。 【主体的に取り組む態度等】 ・学習に主体的に取り組もうとしている。 ・作戦などを話し合う場面で、合意形成に貢献しようとしている。 ・一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとしている。 ・仲間の課題を指摘するなど、互いに助け合い高め合おうとしている。				18
							合計
							70

高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教 科： 保健体育 科 目： 保健 単位数： 1 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：（A組：榎本）

使用教科書：（ 現代高等保健体育（大修館書店） ）

教科 保健体育 の目標： 生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知 識 及 び 技 能】 個人及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。

科目 保健 の目標： 生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりとその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容に関わる技能を身に付けるようにすることを目指す。	個人生活における健康・安全に関する内容について科学的に思考し、判断し、それらを筋道を立てて他者に表現できるようにするという考え方を生かすことを目指す。	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通して健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在および将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにすることを目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・さまざまな健康の考え方について例をあげて説明できる。 ・健康を成り立たせている要因について例をあげて説明できる。 ・我が国の健康水準の変化とその背景について説明できる。 ・我が国の現在の健康問題について例をあげて説明できる。 ・生活習慣病の種類と要因について説明できる。 ・生活習慣病の一次予防、二次予防について例をあげて説明できる。 ・がんの主な治療法や緩和ケアについて説明できる。 ・がん検診の普及や情報サービスの整備などの社会的な対策について説明できる。 ・喫煙者やその周囲の人に起こる害について説明できる。 ・喫煙対策について、個人と社会に分けて例をあげて説明できる。 ・飲酒による健康への短期影響と長期影響を説明できる。 ・飲酒による健康問題に対する個人や社会環境への対策について例をあげて説明できる。 ・薬物乱用が心身の健康や社会に及ぼす影響について説明できる。 ・薬物乱用防止のための個人や社会環境への対策例をあげることができ	・健康の考え方と成り立ち ・私たちの健康のすがた ・生活習慣病の予防と回復 ・がんの原因と予防 ・がんの治療と回復 ・喫煙と健康 ・飲酒と健康 ・薬物乱用と健康	【知識・技能】40点 ・期末考査（40点） 【思考力・判断力・表現力等】30点 ・期末考査（25点） ・毎単元の考査（5点） 【主体的に取り組む態度等】30点 ・出席＋授業準備（10点） ・ノート（20点）				14
2 学 期	・目的に応じた健康的な運動の仕方について例を挙げながら説明できる。 ・健康的な食事の仕方について説明できる。 ・健康と睡眠の関係及び健康によい睡眠のとり方について説明できる。 ・精神疾患の要因について説明できる。 ・精神疾患の予防法について説明できる。 ・精神疾患とその専門家の支援と治療について例を挙げることができ	・運動と健康 ・食事と健康 ・休養睡眠と健康 ・精神疾患の特徴 ・精神疾患からの回復 ・現代の感染症 ・感染症の予防 ・性感染症・エイズとその予防 ・健康に関する意思決定・行動選択 ・健康に関する環境づくり	【知識・技能】40点 ・期末考査（40点） 【思考力・判断力・表現力等】30点 ・期末考査（25点） ・毎単元の考査（5点） 【主体的に取り組む態度等】30点 ・出席＋授業準備（10点） ・ノート（20点）				14
3 学 期	・社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進に関わる課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断しそれらを表している。 ・環境保健に関わる活動、食品保健に関わる活動について、資料等で調べたことを基に課題を見付けたり解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。 ・自身の健康に関して、これまでの自分の生活における行動や生活環境等を分析したりするなどして、課題を発見したり、課題解決の方法に関して筋道を立てて考察し、それらを説明したりまとめる事ができる。 ・環境衛生活動については、資料等で調べたことを基に、課題を見付け、解決の方法を整理し、理解したことを記述している。 ・身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることを理解している。 ・健康と環境に関する情報から課題を発見し、その解決に向けて思考し判断しているとともに、それらを表現している。	・プレゼン資料作成 ・プレゼンテーション ・プレゼン評価	【知識・技能】30点 ・プレゼン資料（30点） 【思考力・判断力・表現力等】40点 ・プレゼンテーション（40点） 【主体的に取り組む態度等】30点 ・出席＋授業準備（10点） ・研究発表評価表（20点）				7
							合計
							35

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第2学年 A組

教科担当者：（A組：榎本）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知識及び技能】個人及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力のある生活を営む態度を育てる。

科目 保健 の目標：生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポールライフの継続を目指す。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会と健康、安全な社会生活、生涯を通じる健康、健康を支える環境づくりとその活用について、個人だけでなく社会生活について総合的に理解できるようにするとともに、それらの内容に関わる技能を身に付けるようにすることを目指す。	個人生活における健康・安全に関する内容について科学的に思考し、判断し、それらを筋道を立てて他者に表現できるようにするという考え方を生かすことを目指す。	自他の健康やそれを支える環境づくりに関心を持ち、現在だけでなく生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在および将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものを目指す。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	・ライフステージと健康の関係性について例をあげて説明できる。 ・思春期の心と体の発達についてそれぞれ例をあげて説明できる。 ・性意識の男女差について例をあげて説明できる。 ・妊娠過程の健康問題について説明できる。 ・避妊法について説明できる。 ・人工妊娠中絶の現状とその背景について説明できる。 ・結婚生活を健康に送るために必要な考え方や行動を説明できる。	・ライフステージと健康 ・思春期と健康 ・性意識と性行動の選択 ・妊娠・出産と健康 ・避妊法と人工妊娠中絶 ・結婚生活と健康	【知識・技能】40点 ・期末考査（40点） 【思考力・判断力・表現力等】30点 ・期末考査（25点） ・毎単元の考査（5点） 【主体的に取り組む態度等】30点 ・出席＋授業準備（10点） ・ノート（20点）				14
2 学 期	・中高年期の健康課題について説明できる。 ・労働中の事故防止に必要な考えについて説明できる。 ・健康的な働き方について説明できる。 ・事故の発生要因に関して例をあげて説明できる。 ・安全確保のためにどのような環境整備が必要なかを説明できる。 ・けがに応じた応急手当の方法を例をあげてそれぞれ説明できる。 ・心肺蘇生法について説明できる。	・中高年期と健康 ・働くことと健康 ・労働災害と健康 ・健康的な職業生活 ・事故の現状と発生原因 ・安全な社会の形成 ・交通における安全 ・応急手当の意義とその基本 ・日常的な応急手当 ・心肺蘇生法	【知識・技能】40点 ・期末考査（40点） 【思考力・判断力・表現力等】30点 ・期末考査（25点） ・毎単元の考査（5点） 【主体的に取り組む態度等】30点 ・出席＋授業準備（10点） ・ノート（20点）				14
3 学 期	・社会生活と健康について、社会生活における健康の保持増進に関わる課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断しそれらを表している。 ・環境保健に関わる活動、食品保健に関わる活動について、資料等で調べたことを基に課題を見付けたり解決の方法を整理したりするなどして、それらを説明している。 ・自身の健康に関して、これまでの自分の生活における行動や生活環境等を分析したりするなどして、課題を発見したり、課題解決の方法に関して筋道を立てて考察し、それらを説明したりまとめる事ができる。 ・環境衛生活動については、資料等で調べたことを基に、課題を見付け、解決の方法を整理し、理解したことを記述している。 ・身体には、環境に対してある程度まで適応能力があること。また、快適で能率のよい生活を送るための温度、湿度や明るさには一定の範囲があることを理解している。 ・健康と環境に関する情報から課	・プレゼン資料作成 ・プレゼンテーション ・プレゼン評価	【知識・技能】30点 ・プレゼン資料（30点） 【思考力・判断力・表現力等】40点 ・プレゼンテーション（40点） 【主体的に取り組む態度等】30点 ・出席＋授業準備（10点） ・研究発表評価表（20点）				7
							合計
							35

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの	自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを感じ、自ら味わって聴くことができるようにする。	主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 斉唱・合唱 【知識及び技能】 曲想と歌詞との関わりについて理解している 技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもって臨んでいる。 【学びに向かう力、人間性等】 正しい発声を身に付けて表現を創意工夫することに心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている	・指導事項 校歌、翼をください、少年時代、この道、野ばら、君と見た海 ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】親しみやすいJ-POPの歌の二部合唱、音楽を幅広く様々な視点から捉えようとするに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	16
	B 単元 鑑賞 【知識及び技能】各時代の音楽の特徴と文化的・歴史的背景を理解している。各時代の音楽家の生涯を正しく理解し、社会との関わりや音楽家の心情を理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】その時代の特徴や社会を正しく理解し、現代と比較したり、社会と音楽家との関わりを知ることにより、作品が作られた背景を理解し、同時代・異時代の音楽家を比較研究したりすることにより、音楽の構造や音色等の違いを認識することができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に授業に参加し、提出物やワークシートの管理・提出を怠ることなく楽しく授業に臨んでいる。	・指導事項 ルネサンス、古典派、ロマン派、近代音楽 ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考えるときにも、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】オーケストラの様々な楽器の音色や響き、表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	14
2 学 期	A 単元 斉唱・合唱 【知識及び技能】 曲想と歌詞との関わりについて理解している 技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している	・指導事項 サンタルチア、虹、ホールニューワールド、 ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】親しみやすいJ-POPの歌の二部合唱、音楽を幅広く様々な視点から捉えようとするに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。	○	○	○	15
	B 単元 器楽 【知識及び技能】楽器の持つ特性を理解し、音階や曲が正しい指で正確に弾くことができる。 楽器の構造や性能を理解することにより、その楽器にふさわしい技術を習得し、練習に参加することができる。	・指導事項 音階と和音、エリーゼのために ・教材 キーボード ・LCTの活用	【知識・技能】表現や鑑賞の「知識」に関する諸事項について理解している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱、形式、構成などを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、歌唱や器楽表現としてどのように表すかについて	○	○	○	13
3 学 期	A 単元 斉唱・合唱 【知識及び技能】 曲想と歌詞との関わりについて理解している 技能 創意工夫を生かした歌唱表現をするために必要な、曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方などの技能を身に付け、歌唱で表している 【思考力、判断力、表現力等】 音色、旋律を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもって臨んでいる。	・指導事項 流浪の民、ベートーヴェン第九、 ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】様々な表現形態による歌唱表現の特徴について理解している。姿勢や呼吸などの身体の使い方の技能、他者との調和を意識して歌う技能を身に付け、歌唱で表している。 【思考・判断・表現】親しみやすいJ-POPの歌の二部合唱、音楽を幅広く様々な視点から捉えようとするに関心をもち、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。 音色、リズム、旋律、テクスチュアを知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考え、どのように歌うかについて表現意図をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	6
	B 単元 鑑賞 【知識及び技能】各時代の音楽の特徴と文化的・歴史的背景を理解している。各時代の音楽家の生涯を正しく理解し、社会との関わりや音楽家の心情を理解することができる 【思考力、判断力、表現力等】その時代の特徴や社会を正しく理解し、現代と比較したり、社会と音楽家との関わりを知ることにより、作品が作られた背景を理解し、同時代・異時代の音楽家を比較研究したりすることにより、音楽の構造や音色等の違いを認識することができる。 【学びに向かう力、人間性等】主体的・協働的に授業に参加し、提出物やワークシートの管理・提出を怠ることなく楽しく授業に臨んでいる。	・指導事項 バレエ、ミュージカル、オペラ ・教材 教科書 ・LCTの活用	【知識・技能】音楽の特徴と文化的・歴史的背景、他の芸術との関わり、伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。 【思考・判断・表現】音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、構成を知覚し、それらの働きを感じながら、知覚したものと感受したこととの関わりについて考えるときにも、曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 【主体的に学習に取り組む態度】オーケストラの様々な楽器の音色や響き、表現上の効果に関心をもち、主体的・協働的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	○	○	○	6
							合計
							70

都立江戸川高等学校 令和7年度

教科 芸術

科目 音楽Ⅱ

教科：芸術

科目：音楽Ⅱ

単位数：単位

対象学年組：第 4 学年 組～ 組

教科担当者：（ A組：白井 ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 音楽之友社 ON！2 ）

教科 芸術

の目標：

- 【思考力、判断力、表現力等】
- 【学びに向かう力、人間性等】

科目 音楽Ⅱ の目標：

【知識及び技能】		【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】			
曲想と歌詞や旋律との関わりについて理解し、創意工夫を生かした表現する為に曲に合った音色や動作・アンサンブルの調和を図って演奏する技能を身につける。		旋律と歌詞・ハーモニーの関連を知覚し、その働きを感じながら曲想の美しさについて考え、イメージに合った表現を創意工夫出来るようにする。	創作や楽曲に関心を持ち、主体的・協働的に音楽の学習活動に取り組む。			

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・ 青春と音楽 （歌唱や創作の諸活動を通して歌唱技能の基本や簡単なリズムの作り方学び音楽の楽しさを味わう）	・歌うことの楽しさを感じ取らせる ・呼吸法、口の形、共鳴等発声の基本を学習する ・ポピュラー音楽の概要を図る	・歌唱することに喜びを感じ取り、適切な発声に努める ・ことに主体的に取り組んでいるか ・言葉のリズムや抑揚の特徴や雰囲気を知覚し、表現に生かそうとしている		○	○	
	・ 劇音楽 （劇や物語と音楽の結びつきを理解しイメージを持って表現したり鑑賞する）	・楽曲の背景を意識した表現の工夫や効果を感じ取って鑑賞する ・物語と音楽との関わりを意識した表現の工夫や創造的な鑑賞	・劇や物語と音楽の関わりに関心を持ち、意欲的に歌唱したり演奏したり鑑賞しようとしている	○	○	○	18
2 学期	・ 器楽 （器楽の実習を通して器楽の表現に親しみ技能の伸長を図ると共に、その特長を生かした表現の良さを味わう） ・ 世界の音楽	・ギターの基礎的な奏法の実習（音楽Ⅰの復習） ・楽器の音色や奏法の特徴を生かした表現の工夫 ・曲種に応じた発声の工夫 ・楽曲の背景と曲想との関わりを意識	・地域や民族による発声や音楽の特徴の違いに関心を持ち、意欲的に歌唱しようとしている ・楽曲の文化的・歴史的背景に関心を持ち、意欲的に鑑賞しようとしている	○	○	○	
	・ 創作（作曲） （さまざまな音に注意喚起する事を通して、音楽的な視野の拡大を図る）	・各々の素材の持ち味を生かした個性的な表現を工夫したり又、お互いの作品を聴き合う事を通して、それぞれの作品の表現を感じ取る	・音階を選んで旋律をつくり、和音や副次的な旋律を付けて創造的に音楽をつくる ・音楽素材の特徴を生かし、リズムや反復、変化などの変奏や編曲への工夫をしている	○	○	○	26
3 学期	・ アンサンブルを楽しむ （声や楽器を組み合わせて演奏したり様々な音楽素材を用いた創作を通してそれらに必要な技能を身につけイメージを持ち表現する）	・様々な楽器、表現媒体に関心を持ち自分なりの音、音楽を表現する ・お互いのパートをよく聴き合い、相互に意見を出し合いながら楽しくアンサンブルを作り出す	・多様な音楽表現の面白さ、アレンジの楽しさを感じ取っている ・演奏のポイントに従って、創造的な表現が出来る	○	○	○	6
							合計 50

年間授業計画

江戸川 高等学校 令和7年度（1学年用） 教科 芸術 科目 美術 I

教 科： 芸術 科 目： 美術 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 A 組

教科担当者： （A組：岡崎美恵子）

使用教科書： （ 日本文教出版 高校生の美術 1 ）

教科 芸術 の目標：

【 知 識 及 び 技 能 】芸術に関する各科目の特長について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする

【思考力、判断力、表現力等】創造性をはぐくみ、人間の感性を育てる

【学びに向かう力、人間性等】他者に共感する心を通じて、他人を尊重し、考えを異にする人々と共に生きる資質をはぐくむ

科目 美術 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
デッサン、木彫レリーフ、デザインの基本的な表現方法を理解する。 誠実に製作し、基本的な技能を身に付けることができる	基本的な表現方法を理解し、課題に沿った表現を判断し、思考する力を養うことができる	美術作品の美しさを理解し、尊重することができる。 美術表現を通して自分の想いや考えを他者に伝えることができる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	鉛筆デッサン 【目標】 鉛筆のグラデーションのワークシートを通して、鉛筆表現の濃淡について理解する。鉛筆の濃淡で陰影を表現しようとしている。 細部まで描写しようとする 鉛筆の削り方を学び、描写に適した削り方を工夫する。	・鉛筆の削り方 ・グラデーション ・円・円柱の描き方 ・紙コップのデッサン ・折り鶴のデッサン ・透明コップとモチーフデッサン ・参考作品提示 ・教材配布 ・生徒各自の制作	【知識・技能】 基本的な鉛筆の使い方、削り方を理解できる。 立体的な描写技術を習得できる。 陰影表現を理解し描ける。中心線、補助線を描き形をとらえることができる。 物の持つ質感を描ける。 【思考・判断・表現】 構図を理解し、モチーフを生かした質感や表現を判断して取り組める 【主体的に学習に取り組む態度】 全体のバランスを把握し、細部の描写まで意欲的に取り組める。	○	○	○	12
	牛乳パックデザイン 【目標】 オリジナル飲料のデザインを行うこと で。独自性を養い、他に伝える力をつける	・アイデアスケッチ ・下描き ・本描き ・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・端末から参考画像検索 ・生徒各自の制作	【知識・技能】 立方体の容器の展開図にデザインすることを理解する 配置や構成のコントラスト、強弱を理解し表現できる 【思考・判断・表現】 アイデアを思案し、効果的に内容物が伝わるデザインを考える 【主体的に学習に取り組む態度】	○	○	○	12
2 学期	牛乳パックデザイン 【目標】 色彩の効果を理解し表現力を高める	・着彩 ・組み立て	【知識・技能】 効果的な色彩構成を理解する。丁寧に塗れるかどうか 【思考・判断・表現】 色彩の配置や構成のコントラスト、強弱を理解し表現できる 【主体的に学習に取り組む態度】 色彩配置の工夫がされており、集中して取り組めたか。	○	○	○	12
	木彫鏡 【目標】 連続模様で表現することにより、デザインの伝える強さを理解する 彫刻刀の使い方を理解する 浮き彫りでデザインを表現する力を身につける	・アイデアスケッチ ・下描き ・彫刻刀の使い方 ・彫の種類、彫り方 ・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・端末から参考画像検索 ・生徒各自の制作	【知識・技能】 基本的な彫刻刀の使い方、彫り方を理解できる。 【思考・判断・表現】 連続模様による表現を理解しデザインできる 鏡を取り入れたデザインである事を理解しし、テーマに生かすことができる 【主体的に学習に取り組む態度】 浮き彫りの表現が効果に現れるまで意欲的に彫り進み、取り組める。	○	○	○	20
3 学期	木彫鏡 【目標】 素材の木の木目や肌触りを生かした着色を施せるようにする。 木という素材感を味わい、良さを表現できるようにする	・ヤスリがけ ・着彩 ・ニス塗り	【知識・技能】 木目の美しさを引き出しながら着彩できる 木材の表面を彫り目を生かしつつヤスリで整えることができる 【思考・判断・表現】 的確な厚みのニス塗りができる 【主体的に学習に取り組む態度】 最後まで丁寧にに取り組むことができる	○	○	○	6
	勾玉づくり 【目標】 削って磨くという作業の楽しさや完成の達成感を味わう ペーパークラフト 【目標】 紙の造形の美しさを味わう	・アイデアスケッチ ・切断、削り出し ・研磨 ・切り抜き ・組み立て	【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に課題を理解し、計画的に完成できたか。 意欲的に課題に取り組めたか。			○	8
							合計 70

年間授業計画

江戸川 高等学校 令和7年度（4学年用） 教科 芸術 科目 美術Ⅱ

教 科： 芸術 科 目： 美術Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 4 学年 A 組

教科担当者： （A組：岡崎美恵子）

使用教科書： （ 日本文教出版 高校生の美術2 ）

教科 芸術 の目標：
【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特長について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】創造性をはぐくみ、人間の感性を育てる
【学びに向かう力、人間性等】他者に共感する心を通じて、他人を尊重し、考えを異にする人々と共に生きる資質をはぐくむ

科目 美術Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
デッサン、工芸、デザインの基本的な表現方法を理解する。 誠実に製作し、基本的な技能を身に付けることができる	基本的な表現方法を理解し、課題に沿った表現を判断し、思考する力を養うことができる	美術作品の美しさを理解し、尊重することができる。 美術表現を通して自分の想いや考えを他者に伝えることができる

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	鉛筆デッサン 【目標】 鉛筆のグラデーションのワークシートを通して、鉛筆表現の濃淡について理解する。鉛筆の濃淡で陰影を表現しようとしている。 細部まで描写しようとする 鉛筆の削り方を学び、描写に適した削り方を工夫する。	・鉛筆の削り方 ・円・円柱の描き方 ・紙コップのデッサン ・透明コップとモチーフデッサン ・参考作品提示 ・教材配布 ・生徒各自の制作	【知識・技能】 基本的な鉛筆の使い方、削り方を理解できる。 立体的な描写技術を習得できる。 陰影表現を理解し描ける。 中心線、補助線を描き形をとらえることができる。 物の持つ質感を描ける。 【思考・判断・表現】 構図を理解し、モチーフを生かした質感や表現を判断して取り組める。 【主体的に学習に取り組む態度】 全体のバランスを把握し、細部の描写まで意欲的に取り組める。□	○	○	○	8
	ペンによる細密画 【目標】 ペンで描くワークシートを使ってペンの表現、描き方を学ぶ。 画面の隅々まで描きこみ、自分の世界を細部にわたり描写しようとする	・アイデアスケッチ ・ペンによる描写 ・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・端末から参考画像検索 ・生徒各自の制作	【知識・技能】 練習プリントにより、線描画の技術を理解できる。 白黒のコントラスト調整ができている。 【思考・判断・表現】 構図への工夫、作品の内容、アイデアが豊かである。 線の密度があり、強弱の表現が理解されている 【主体的に学習に取り組む態度】 完成までの制作過程を理解し制作を進められる。	○	○	○	20
2 学 期	消しゴムハンコを使ったブックカバーデザイン 【目標】 消しゴムハンコのワークシートを通して、版の仕組みについて理解する。 版を使って連続模様のブックカバーデザインを考えようとしている。 デザインの効果や配置、画面構成について考えようとしている。	・印影デザイン ・彫り ・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・生徒各自の制作	【知識・技能】 想定課題を理解して、基礎的な版表現、平面構成の課題内容の把握、彫りの技術の習得ができる。 【思考・判断・表現】 アイデアを思案し、連続模様の配置や構成のコントラスト、強弱を理解し表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 図案の工夫がされており、集中して取り組めたか。	○	○	○	20
	箸づくり 【目標】 箸づくりのワークシートを通して、箸の製作について理解する。 使う事を目的とした用のデザインを考えようとしている。	・アイデアスケッチ ・成形 ・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・生徒各自の制作	【知識・技能】 用の美の課題を理解して基礎的な工芸表現ができる。 成形の技術の習得ができる。 【思考・判断・表現】 アイデアを思案し、使いやすくデザインに優れた、箸の形を考える 【主体的に学習に取り組む態度】 デザインが工夫されており、集中して取り組めたか。	○	○	○	12
3 学 期	ペーパークラフト 【目標】 制作を通して、紙の造形の美しさについて理解する。カード仕組みを考える。造形の美しさを理解し制作しようとしている。	・制作方法の説明 ・参考作品提示 ・教材配布 ・生徒各自の制作	【主体的に学習に取り組む態度】 積極的に課題を理解し、計画的に完成できたか。 意欲的に課題に取り組めたか。			○	10
							合計 70

高等学校 令和 7 年度		教科	芸術	科目	書道 I
教 科：	芸術	科 目：	書道 I	単位数：	2 単位
対象学年組：	第 1 学年 A 組				
教科担当者：	(A組：松岡	(組：		(組：	
使用教科書：	(書道 I 教育出版				
教科	芸術	の目標：			
【知 識 及 び 技 能】	芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ				
【思考力、判断力、表現力等】	創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。				
【学びに向かう力、人間性等】	生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。				

科目 書道Ⅰ		の目標：
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式を幅広く理解している。 書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき作品を効果的に仕上げる。	書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考える。	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数			
			漢 仮	漢	仮									
1 学 期	【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わりを理解する。 楷書の古典の線質、字形、構成など要素と表現効果、そして、中国の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 楷書の古典の書風に即した用筆、運筆、字形、全体構成を工夫する。 楷書の古典や臨書した作品の価値とその根拠について考え、書の良さと美しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 楷書の古典の特質に基づく幅広い表現を通じ、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・ペン習字の基礎 ・唐の四大家	○	○	○	【知識・技能】 書の表現方法や形式・表現の多様性について理解している。 書写技能を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効率的に表現するための基礎的技術を身につけている。〈評価方法 提出作品〉	○				7			
		九成宮醴泉銘			○	○	【思考・判断・表現】 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえる。 〈評価方法 提出作品〉	○	○	○		7		
		雁塔聖教序			○	○	【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。		○	○	○		7	
		孔子廟堂碑			○	○				○	○	○		7
2 学 期	【知識及び技能】 行書の古典の書風に即した用筆、運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の古典に即した全体構成に工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 行書の古典の良さや美しさを感じ、書に関する感性を豊かにする。	蘭亭序 風信帖		○	○	【知識・技能】 書の表現方法や形式・表現の多様性について理解している。 書写技能を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効率的に表現するための基礎的技術を身につけている。〈評価方法 提出作品〉	○	○	○			17		
		祭姪稿		○	○	【思考・判断・表現】 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえる。 〈評価方法 提出作品〉 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	○	○	○			17		
3 学 期	【知識及び技能】 仮名の学源を理解する。仮名の線質、特に繊細さの表現技術を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 友名の書の多様な表現を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的書式に興味を持ち、特性を主体的に理解する。	平仮名 変体仮名			○	【知識・技能】 書の表現方法や形式・表現の多様性について理解している。 書写技能を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効率的に表現するための基礎的技術を身につけている。〈評価方法 提出作品〉	○	○	○			11		
		蓬萊切 高野切			○	○	【思考・判断・表現】 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえる。 〈評価方法 提出作品〉 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。				○	○	○	5
												合計 78		

高等学校 令和7年度

教科 芸術

科目 書道Ⅱ

教 科： 芸術

科 目： 書道Ⅱ

単位数： 2 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組

教科担当者：（A組：松岡 ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 書道Ⅱ 教育出版 ）

教科 芸術

の目標：

【知 識 及 び 技 能】芸術に関する各科目の特質について理解するとともに、意図に基づいて表現するための技能を身に付けるよ

【思考力、判断力、表現力等】創造的な表現を工夫したり、芸術のよさや美しさを深く味わったりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】生涯にわたり芸術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

科目 書道Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
書の表現の方法や形式を幅広く理解して いる。 書写能力を向上させるとともに、書の 伝統に基づき作品を効果的に仕上げる。	書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現したり、作品や書の伝統と文化 の意味や価値を考える。	主体的に書の表現及び鑑賞の 幅広い活動に取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	表現			鑑賞	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
			漢 仮	漢	仮						
1 学 期	【知識及び技能】 用具・用材の特徴と表現効果の関わりを理解する。 楷書の古典の線質、字形、構成など要素と表現効果、そして、中国の文字と書の伝統と文化について理解する。 【思考力、判断力、表現力】 楷書の古典の書風に即した用筆、運筆、字形、全体構成を工夫する。 楷書の古典や臨書した作品の価値とその根拠について考え、書の良さと美しさを味わう。 【学びに向かう力、人間性等】 楷書の古典の特質に基づく幅広い表現を通じ、書に対する感性を豊かにし、書を愛好する心情を養う。	・ペン習字の基礎 ・孟法子碑 ・魏靈藏造像記	○	○	○	【知識・技能】 書の表現方法や形式・表現の多様性について理解している。 書写技能を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的 技能を身につけている。〈評価方法 提出作品〉 【思考・判断・表現】 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえる。 〈評価方法 提出作品〉 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	○		○	13	
		集王聖教序			○	○	○	○	○	○	13
2 学 期	【知識及び技能】 行書の古典の書風に即した用筆、運筆や線質、字形や構成を生かした表現の技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 行書の古典に即した全体構成に工夫する。 【学びに向かう力、人間性等】 行書の古典の良さや美しさを感じ、書に関する感性を豊かにする。	右鼓文 金文		○	○	【知識・技能】 書の表現方法や形式・表現の多様性について理解している。 書写技能を向上させるとともに書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的 技能を身につけている。〈評価方法 提出作品〉 【思考・判断・表現】 書の良さや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえる。 〈評価方法 提出作品〉 【主体的に学習に取り組む態度】 主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。	○	○	○	13	
		乙瑛碑 礼器碑		○	○	○	○	○	○	13	
3 学 期	【知識及び技能】 仮名の学源を理解する。仮名の線質、特に繊細さの表現技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 友名の書の多様な表現を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 日本の伝統的書式に興味持ち、特性を主体的に理解する。	高野切第一種 三色紙			○	○	○	○	○	6	
											合計 58

高等学校

令和7年度（1 学年用）

教科英語

英語

科目 英語コミュニケーション I

教科： 英語

科目： 英語コミュニケーション I

単位数： 3 単位

対象学年組：第 1 学年 A 組

教科担当者：高橋

使用教科書：（ VISTA English Communication I ）

教科 英語

の目標：

【知識及び技能】中学校の内容を基礎基本とした高校の内容の定着

【思考力、判断力、表現力等】基本的な英語の4技能5領域での適切な表現ができる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。

* 授業内容は生徒の理解度等に応じて計画と異なる場合があります。

科目 英語コミュニケーション I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的、社会的な話題について聞いたり読んだりするために必要な語彙や表現、音声等を理解している。情報や考えなどを基本的な表現を用いて書いたり話したりして伝える技能を身につけている。	日常的、社会的な話題についての会話や文章を聞いたり読んで、意図や概要、要点を捉えている。情報や考えなどを基本的な表現を用いて書いたり話したりして伝える。	日常的、社会的な話題の会話や文章の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮して主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	アルファベット 単語の書き方 辞書の引き方 教室英語の理解 ののちゃんの英文法 中学校で学習した基本の文法の理解	アルファベット 単語の書き方 辞書の引き方 教室英語 be動詞、一般動詞、各品詞の役割 プリント、ICT機器	アルファベット 単語の書き方 辞書の引き方 教室英語を理解したか 中学校で学習した基本の文法を理解したか 授業への積極的な参加 課題提出	○	○	○	11
	春について理解して考えを深めることができる 色や春についてやり取りができる	be動詞。一般動詞の現在形 プリント、ICT機器	春についての概要を聞き取ることができる 春についての対話を読み、概要や要点を把握できる 色や春について基本的な語句を用いて自分の考えを伝えることができる 授業への積極的な参加 課題提出	○	○	○	13
	定期考査						1
2 学期	ディックブルーナさんについて理解して考えを深めることができる キャラクターや本についてやり取りができる	be動詞。一般動詞の過去形 プリント、ICT機器	ディックブルーナさんについての概要を聞き取ることができる ディックブルーナさんについての対話を読み、概要や要点を把握できる キャラクターや本について基本的な語句を用いて自分の考えを伝えることができる 授業への積極的な参加 課題提出	○	○	○	23
	おもしろいスポーツについて理解して考えを深めることができる スポーツや過去の行動についてやり取りができる	過去進行形 プリント、ICT機器	おもしろいスポーツについての概要を聞き取ることができる おもしろいスポーツについての対話を読み、概要や要点を把握できる スポーツや過去の行動について基本的な語句を用いて自分の考えを伝えることができる 授業への積極的な参加 課題提出	○	○	○	22
	定期考査						1
3 学期	オリンピックやジェスチャーの役割について理解して考えを深めることができる オリンピックやピクトグラム、自分のできることや趣味についてやり取りができる	助動詞、動名詞 プリント、ICT機器	ピクトグラムやジェスチャーについての概要を聞き取ることができる ピクトグラムの役割について読み、概要や要点を把握できる オリンピックやピクトグラム、自分のできることや趣味について基本的な語句を用いて自分の考えを伝えることができる 授業への積極的な参加 課題提出	○	○	○	20
	定期考査						1
							合計 92

高等学校 令和7年度（2学年用） 教科英語 英語 科目 英語コミュニケーションⅠ

教 科： 英語 科 目： 英語コミュニケーションⅠ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組

教科担当者：高橋

使用教科書：（ VISTA English CommunicationⅠ ）

教科 英語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】中学校の内容を基礎基本とした高校の内容の定着

【思考力、判断力、表現力等】基本的な英語の4技能5領域での適切な表現ができる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。

* 授業内容は生徒の理解度等に応じて計画と異なる場合があります。

科目 英語コミュニケーションⅠ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的、社会的な話題について聞いたり読んだりするために必要な語彙や表現、音声等を理解している。情報や考えなどを基本的な表現を用いて書いたり話したりして伝える技能を身につけている。	日常的、社会的な話題についての会話や文章を聞いたり読んで、意図や概要、要点を捉えている。情報や考えなどを基本的な表現を用いて書いたり話したりして伝える。	日常的、社会的な話題の会話や文章の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮して主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	岩合光昭さんの動物と自然への 思いについて理解して考えを深める ことができる 自然に関する話題のやり取りが できる	現在完了形 プリント、ICT機器	岩合さんについての概要を聞き取ることが できる 岩合さんについての対話を読み、概要や要点 を把握できる 自然や写真について基本的な語句を用いて自 分の考えを伝えることができる 授業への積極的な参加 課題提出	○	○	○	8
	定期考査						
	世界遺産マチュピチュのなぞと魅力 について理解して考えを深めること ができる 旅行についてやり取りができる	be動詞。一般動詞の現在形 プリント、ICT機器	マチュピチュについての概要を聞き取ること ができる マチュピチュについての対話を読み、概要や 要点を把握できる 旅行について基本的な語句を用いて自分の考 えを伝えることができる 授業への積極的な参加 課題提出	○	○	○	10
	定期考査						1
2 学 期	身近で使用されているAIについて理 解して考えを深めることができる ロボットについてやり取りができる	be動詞。一般動詞の過去形 プリント、ICT機器	AIについての概要を聞き取ることができ る AIについての対話を読み、概要や要点を把握 できる ロボットについて基本的な語句を用いて自分 の考えを伝えることができる 授業への積極的な参加 課題提出	○	○	○	13
	定期考査						
	サンタクロースに関する話題につい て理解して考えを深めることができ る サンタクロースについてやり取りが できる	過去進行形 プリント、ICT機器	サンタクロースについての概要を聞き取るこ とができる サンタクロースについての対話を読み、概要 や要点を把握できる サンタクロースについて基本的な語句を用い て自分の考えを伝えることができる 授業への積極的な参加 課題提出	○	○	○	10
	定期考査						1
3 学 期	ゲルニカに関する話題について理解 して考えを深めることができる アンケートについてやり取りができ る	助動詞、動名詞 プリント、ICT機器	ゲルニカについての概要を聞き取ることが でき る ゲルニカについて読み、概要や要点を把握で きる アンケートについて基本的な語句を用いて自 分の考えを伝えることができる 授業への積極的な参加 課題提出	○	○	○	13
	定期考査						1
							合計 57

高等学校

令和7年度（3学年用）

教科英語

英語

科目

英語コミュニケーションⅡ

教科：英語

科目：英語コミュニケーションⅡ

単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組

教科担当者：高橋

使用教科書：（VISTA English CommunicationⅡ）

教科英語

の目標：

【知識及び技能】中学校の内容を基礎基本とした高校の内容の定着

【思考力、判断力、表現力等】基本的な英語の4技能5領域での適切な表現ができる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。

* 授業内容は生徒の理解度等に応じて計画と異なる場合があります。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的、社会的な話題について聞いたり読んだりするために必要な語彙や表現、音声等を理解している。情報や考えなどを基本的な表現を用いて書いたり話したりして伝える技能を身につけている。	日常的、社会的な話題についての会話や文章を聞いたり読んで、意図や概要、要点を捉えている。情報や考えなどを基本的な表現を用いて書いたり話したりして伝える。	日常的、社会的な話題の会話や文章の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮して主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	「踊り」という世界共通テーマを通して、世界各国の文化の多様性を感じ取ることができる。	疑問詞・不定詞・一般動詞 プリント・ICT機器	ダンスについての概要を聞き取ることができる。 ダンスについての英文を読み、概要を理解することができる。 授業態度・発言 提出物	○	○	○	8
	英語と日本語の慣用句の違いについて理解し、考えを深めることができる	疑問詞節・副詞節 プリント・ICT機器	英語と日本語の慣用句についての概要を聞き取ることができる。英語と日本語の慣用句について書いたり話したりし、伝え合うことができる。 授業態度・発言 提出物	○	○	○	10
	定期考査						1
2 学期	クオッカに関する文章を読み、生き物と自然環境についての考えを深めることができる、	使役動詞・知覚動詞 プリント・ICT機器	クオッカについて概要を理解できる。動物について話して伝えることができる。 授業態度・発言 提出物	○	○	○	13
	玉木氏の職業への意識と切手でデザインを通した文化について考え、理解することができる。	形式主語、形式目的語 プリント・ICT機器	切手デザイナーの仕事について読んで、内容を理解できる。切手について書いて伝えることができる。 授業態度・発言 提出物	○	○	○	10
	定期考査						1
3 学期	世界遺産に関する文章を読み、景観を守るための人々の取り組みについて考えることができる。	現在完了進行形・過去完了 プリント・ICT機器	世界遺産について読み、概要を理解することができる。旅行したことがある場所について書いたり話したりし、伝え合うことができる。 授業態度・発言 提出物	○	○	○	13
	定期考査						1
							合計 57

高等学校 令和7年度（4学年用） 教科：英語 英語 科目 英語コミュニケーションⅡ

教 科： 英語 科 目： 英語コミュニケーションⅡ 単位数： 2 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組

教科担当者：高橋

使用教科書：（ VISTA English CommunicationⅡ ）

教科 英語 の目標：

【知 識 及 び 技 能】中学校の内容を基礎基本とした高校の内容の定着

【思考力、判断力、表現力等】基本的な英語の4技能5領域での適切な表現ができる。

【学びに向かう力、人間性等】主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。

* 授業内容は生徒の理解度等に応じて計画と異なる場合があります。

科目 英語コミュニケーションⅡ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常的、社会的な話題について聞いたり読んだりするために必要な語彙や表現、音声等を理解している。情報や考えなどを基本的な表現を用いて書いたり話したりして伝える技能を身につけている。	日常的、社会的な話題についての会話や文章を聞いたり読んで、意図や概要、要点を捉えている。情報や考えなどを基本的な表現を用いて書いたり話したりして伝える。	日常的、社会的な話題の会話や文章の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮して主体的、自律的にコミュニケーションを図ろうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	世界遺産に関する文章を読み、景観を守るための人々の取り組みについて考えることができる。	現在完了進行形・過去完了 プリント・ICT機器	世界遺産について読み、概要を理解することができる。 旅行したことがある場所について書いたり話したりし、伝え合うことができる。 授業態度・発言 提出物	○	○	○	13
	スマート農業について学び、未来のことについて表現する。	現在完了形・受け身の現在完了形・受け身の未来系 プリント・ICT機器	日本IT技術についての概要を聞き取ることができる。 未来の技術について書いたり話したりし、伝え合うことができる。 授業態度・発言 提出物	○	○	○	8
	定期考査						1
2 学 期	協議カルタに関する文章を読み、日本の文化についての考えを深めることができる、	関係代名詞の制限用法と非制限用法 関係代名詞what プリント・ICT機器	競技カルタについて概要を理解できる。 日本文化について話して伝えることができる。 授業態度・発言 提出物	○	○	○	14
	「バイオロギング」について知り、環境変化の予測について考え、理解することができる。	分子構文、強調構文 プリント・ICT機器	環境についての文章を読み理解できる。 環境問題に関する語彙力をつけ、環境問題について自分の意見を述べるすることができる。 授業態度・発言 提出物	○	○	○	13
	定期考査						1
3 学 期	世界の著名人の名言を理解し、覚え口頭で発表することができる。	慣用表現 プリント・ICT機器	署名人の名言を理解する。自分が選んだ名言を暗記し、口頭スピーチを発表する。 授業態度・発言 提出物	○	○	○	12
	定期考査						1
							合計 63

江戸川高等学校定時制 令和6年度 教科：外国語（英語） 科目：選択科目 論理・表現I 年間授業計画

教科：英語科 目：選択科目 英語会話 単位数：2単位

対象学年組：第4学年A組

教科担当者：高橋

使用教科書：（ NEW FAVORITE English Logic and Expression I, TOKYO SHOSEKI ）

使用教材：（ 自作ワークシート ）

	指導内容	具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	基本的な教室英語の理解	クラスルームイングリッシュ等、日常的な語句の増強と定着を図る。 基本的なコミュニケーション活動への応用を目指す。 英語による基本的な支持の理解と実践。	・授業中の活動への参加度 ・ペア活動・グループ活動の積極性 ・毎時提出の板書・ワークシートの内容 ・応用的質問などの積極性	6
5月	・教科書Lesson1 「初めての食事」 ・調理英語（自作教材）	①英語スモールトークを聞き、生の英会話に耳を慣らす。 ペア活動で英会話の内容を発表する。 ②調理の英単語（動詞）、調理道具、食材の英単語を学ぶ。 ③食事の際の会話例を学ぶ。	・授業中の活動への参加度 ・ペア活動・グループ活動の積極性 ・毎時提出の板書・ワークシートの内容 ・応用的質問などの積極性	6
6月	・教科書Lesson1 「初めての食事」 ・調理英語（自作教材）	①英語スモールトークを聞き、生の英会話に耳を慣らす。 ペア活動で英会話の内容を発表する。 ②学んだ調理、調理道具、食材の英単語を活用して8文の調理のレシピを英作文する。 ③食事の際の英会話をペア活動、グループ活動で実際に活用してみる。	・授業中の活動への参加度 ・ペア活動・グループ活動の積極性 ・毎時提出の板書・ワークシートの内容 ・応用的質問などの積極性	6
7月	・教科書Lesson1 「初めての食事」 ・調理英語（自作教材）	①英語スモールトークを聞き、生の英会話に耳を慣らす。 ペア活動で英会話の内容を発表する。 ②自作の8文の調理のレシピ英作文を暗記して、口頭発表する。 （授業内スピーチテスト） ③1学期の内容の期末考査	上記内容に加え、 ・口頭スピーチ試験 ・期末考査	2
8月				
9月	・教科書Lesson2 「道に迷う」 ・道案内英語（自作教材）	①英語スモールトークを聞き、生の英会話に耳を慣らす。 ペア活動で英会話の内容を発表する。 ②道に迷った際の英語、道案内の英語を学ぶ。 ③地図を使った英語での道案内を学ぶ。	・授業中の活動への参加度 ・ペア活動・グループ活動の積極性 ・毎時提出の板書・ワークシートの内容 ・応用的質問などの積極性	8
10月	・教科書Lesson2 「道に迷う」 ・道案内英語（自作教材）	①英語スモールトークを聞き、生の英会話に耳を慣らす。 ペア活動で英会話の内容を発表する。 ②道に迷った際の英語、道案内の英語を学ぶ。 ③地図を使った英語での道案内を学ぶ。	・授業中の活動への参加度 ・ペア活動・グループ活動の積極性 ・毎時提出の板書・ワークシートの内容 ・応用的質問などの積極性	8
11月	・教科書Lesson3 「人物紹介」 ・人物紹介英語（自作教材）	①英語スモールトークを聞き、生の英会話に耳を慣らす。 ペア活動で英会話の内容を発表する。 ②人物紹介の英語例を学ぶ。 ③自分自身が興味のある人物を紹介する英作文を作る。	・授業中の活動への参加度 ・ペア活動・グループ活動の積極性 ・毎時提出の板書・ワークシートの内容 ・応用的質問などの積極性	8
12月	・教科書Lesson3 「人物紹介」 ・人物紹介英語（自作教材）	①英語スモールトークを聞き、生の英会話に耳を慣らす。 ペア活動で英会話の内容を発表する。 ②人物紹介の英語例を学ぶ。 ③自作の英作文を覚えて、口頭発表の練習とスピーチテストを行う。 ④2学期の内容の期末考査	上記内容に加え、 ・口頭スピーチ試験 ・期末考査	4
1月	・教科書Lesson4 「体調が悪い」 ・病気にまつわる英語（自作教材）	①英語スモールトークを聞き、生の英会話に耳を慣らす。 ペア活動で英会話の内容を発表する。 ②病名の英単語を学ぶ。 ③英語で診察の際の会話例を学ぶ。 ④口頭で英語での診察シミュレーションを行う。	・授業中の活動への参加度 ・ペア活動・グループ活動の積極性 ・毎時提出の板書・ワークシートの内容 ・応用的質問などの積極性	6
2月	・教科書Lesson5 「買い物」 ・買い物で重宝する英語（自作教材）	①英語スモールトークを聞き、生の英会話に耳を慣らす。 ペア活動で英会話の内容を発表する。 ②買い物の英会話例を学ぶ。 ③英語で買い物をするシミュレーションをする。	・授業中の活動への参加度 ・ペア活動・グループ活動の積極性 ・毎時提出の板書・ワークシートの内容 ・応用的質問などの積極性	6
3月				

高等学校 令和7年度（ 学年用） 教科 家庭科 科目 家庭総合

教 科： 家庭科 科 目： 家庭総合 単位数： 単位

対象学年組：第 2 学年 A 組～ 組

教科担当者：（ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ） （ 組： ）

使用教科書：（ 東京書籍 家庭総合 自立・共生・創造 ）

教科 家庭科 の目標：
【知 識 及 び 技 能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。

科目 家庭総合 の目標：
【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、
【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を図るとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生涯を見通す	人生を展望する、目標を持って生きる	生涯を見通した自己の生活について主体的に考え、ライフスタイルと将来の家庭生活及び職業生活について考察する。				
	持続可能な生活を営む	持続可能な社会を目指して、一人一人の力で社会を動かす	持続可能な社会へ参画することの意義について理解を深めている。	○	○	○	4
	経済生活を営む	情報の収集・比較と意思決定、購入・支払いのルールと方法、消費者の権利と責任、生涯の経済生活を見通す、家計をマネジメントする、これからの経済生活	自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な意思決定に基づいて行動できるよう、責任ある消費について問題を見いだして課題を決定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	15
2 学 期	人生をつくる	人生をつくる、家族・家庭を見つめる、これからの家庭生活と社会	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、青年期の自立と家族・家庭及び社会について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	13
	子どもと共に育つ	命を育む、子どもの育つ力を知る、子どもと関わる、子どもとの触れ合いから学ぶ、これからの保育環境	子どもの健やかな発達を支えるために、子どもとの適切ななかかわり方について課題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて倫理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	21
3 学 期	超高齢社会を共に生きる	超高齢・大衆長寿社会の到来、高齢期の心身の特徴、高齢者の自立を支える、これからの超高齢社会	高齢者の心身の状況に応じて適切にかかわるための生活支援に関する技能を身に付けている。	○	○	○	12
	共に生き、共に支える	私たちの生活と福祉、社会保障の考え方、共に生きる	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、共生社会と福祉について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	5
							合計 70

高等学校 令和7年度（ 学年用） 教科 家庭科 科目 家庭総合

教科： 家庭科 科目： 家庭総合 単位数： 単位

対象学年組：第 3 学年 A 組～ 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 東京書籍 家庭総合 自立・共生・創造 ）

教科 家庭科 の目標：
【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を深め、
【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、
【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な理解を深めるとともに、それらに係る技能を体験的・総合的に身に付けるようにする。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	ホームプロジェクトと学校家庭クラブ	生活に生かそう、「ホームプロジェクト」	自己の家庭生活や地域の生活と関連付けて生活上の問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	1
	食生活をつくる	食生活の課題について考える、食事と栄養・食品、食品の選択と安全、生涯の健康を見通した食事計画	ライフステージの特徴や課題に着目し、栄養の特徴について理解している。 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、食生活の科学と文化について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	18
2 学期	食生活をつくる	調理の基礎、食生活の文化と知恵、これからの食生活	主体的に食生活を営むことができるよう健康に配慮した自己と家族の食事について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	12
	衣生活をつくる	被服の役割を考える、被服を入手する、被服を管理する、被服を作る、衣生活の文化と知恵、これからの衣生活	衣生活を取り巻く課題など、被服と人との関わりについて理解を深めている。 被服構成について科学的に理解している。	○	○	○	24
3 学期	住生活をつくる	住生活の変遷と住居の機能、安全で快適な住生活の計画、住生活の文化と知恵、これからの住生活	主体的に住生活を営むことができるよう防災などの安全に配慮した住生活とまちづくりについて問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	○	○	○	12
	これからの生活を創造する	生活をデザインする	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生涯の生活設計について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	○	○	○	3
							合計 70

高等学校 令和7年度（ 学年用） 教科 家庭科 科目 フードデザイン

教科： 家庭科 科目： フードデザイン 単位数： 単位

対象学年組：第 4 学年 A 組～ 組

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ ）

教科 家庭科 の目標：
【知識及び技能】人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的知識及び技能を身に付け、科学的態度を養う。
【思考力、判断力、表現力等】家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、新たな課題を見いだす能力を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、創造する。

科目 フードデザイン の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
栄養、食品、献立、調理など、フードデザインに必要な要素を相互に関連付けて理解し、実践できる技術を習得する。	多面的に食生活の現状を捉えて思考を深め、食生活の充実向上を目指して自ら課題を発見するとともに、家庭や地域の実情に合わせてより豊かな食生活を創造することによって、課題を解決する。	人々の健康の保持増進と健全な食生活の実現を図るために、進んで学ぶ姿勢を持ちつつ、食材を適切に選択し作るところから食べるところまでを総合的に捉えて、主体的に計画・実践する。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	食事は生きるための意味合いだけでなく、様々な意味があることを理解し、食事と団らんの重要性を知る。	食事の意義と役割 食をとりまく現状	食事の5つの役割について理解しようとしている。	○	○	○	7
	日本料理、西洋料理、および中国料理の基本的な献立作成ができるようにする。食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。主な調理操作を取得することにより、能率よくおいしい料理を作ることができるようにする。	調理実習	日本料理、西洋料理、および中国料理の基本的な献立作成ができる。食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。主な調理操作を取得することにより、能率よくおいしい料理を作ることができる。	○		○	17
2 学期	食物摂取の必要性や、健康を維持するために必要な栄養摂取量、ライフステージごとの栄養摂取の特徴を理解する。また、食品に含まれる栄養成分が、体内で消火、吸収される過程を理解する。	栄養素のはたらき ライフステージと栄養 食事摂取基準と食事計画	食物摂取の必要性や、健康を維持するために必要な栄養摂取量、ライフステージごとの栄養摂取の特徴を理解している。また、食品に含まれる栄養成分が、体内で消火、吸収される過程を理解している。	○	○	○	16
	日本料理、西洋料理、および中国料理の基本的な献立作成ができるようにする。食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。主な調理操作を取得することにより、能率よくおいしい料理を作ることができるようにする。	調理実習	日本料理、西洋料理、および中国料理の基本的な献立作成ができる。食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。主な調理操作を取得することにより、能率よくおいしい料理を作ることができる。	○		○	24
3 学期	様々な食品について、特徴とその調理性、加工について理解する。また、健康食品やインスタント食品などの食品について、正しい知識を身に付ける。	食品の特徴と性質 食品の生産と流通	様々な食品について、特徴とその調理性、加工について理解している。また、健康食品やインスタント食品などの食品について、正しい知識を身に付けている。	○	○	○	2
	日本料理、西洋料理、および中国料理の基本的な献立作成ができるようにする。食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。主な調理操作を取得することにより、能率よくおいしい料理を作ることができるようにする。	調理実習	日本料理、西洋料理、および中国料理の基本的な献立作成ができる。食品衛生と安全に十分配慮して、食品を適切に扱うことができる。主な調理操作を取得することにより、能率よくおいしい料理を作ることができる。	○		○	4
							合計 70

单位数： 2 单位

使用教科書：（ 高校情報 I python 実教出版

の目標：

【思考力、判断力、表現力等】

【学びに向かう力、人間性等】

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	ワード・文章の作成ができるようにする。	ワード・文章の作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	5
	ワード・文章の作成ができるようにする。	ワード・文章の作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	8
				○	○		
	ワード・文章の作成ができるようにする。	ワード・文章の作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	8
	ワード・文章の作成ができるようにする。	ワード・文章の作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	7
				○	○		
2 学 期	ワード・文章デザインが作成できるようにする。	ワード・文章デザインの作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	
	ワード・文章デザインが作成できるようにする。	ワード・文章デザインの作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じ文章を作成することができる	○	○	○	
3 学 期	エクセル・データベースが作成できるようにする。	エクセル・データベースの作成	課題に真剣に取り組み、プリントと同じデータベースを作成することができる	○	○	○	
							合計
							28

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
1 学 期	プリントを使って、データを処理する。 （最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など）	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	6
	プリントを使って、データを処理する。 （最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など）	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	8
				○	○		
	プリントを使って、データを処理する。 （最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など）	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	10
	プリントを使って、データを処理する。 （最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など）	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	4
				○	○		
2 学 期	プリントを使って、データを処理する。 （最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など）	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	16
	プリントを使って、データを処理する。 （最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など）	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	12
3 学 期	プリントを使って、データを処理する。 （最大値、最小値、中央値、分散、平均、標準偏差など）	エクセルを使ったデータ・統計処理	各時間ごとに課題を出し、その課題をきちんと処理できるか、その都度提出課題を評価する。	○	○	○	14
							合計
							70